

令和 3 年度 安乗保育所改修工事

(A 2 — A 3 71% 縮小版)

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

図 面 リ ス ト							
A－00	図面表紙						
A－01	図面リスト 工事概要	A－27	仮設計画図（1）配置図 参考図	E－01	特記仕様書（電気：改修）	M－01	特記仕様書（機械：改修）（1）
A－02	特記仕様書（共通：仮設）（1）			E－02	分電盤結線図・照明器具姿図	M－02	特記仕様書（機械：改修）（2）
A－03	特記仕様書（建築：改修）（2）			E－03	電灯設備 平面図	M－03	凡例 器具表
A－04	特記仕様書（建築：改修）（3）			E－04	コンセント設備・火災報知設備 平面図	M－04	給排水衛生平面図現況
A－05	特記仕様書（建築：改修）（4）					M－05	給排水衛生平面図改修後
A－06	特記仕様書（建築：改修）（5）					M－06	給排水衛生平面詳細図1 現況・改修後
A－07	特記仕様書（建築：改修）（6）					M－07	給排水衛生平面詳細図2 現況・改修後
A－08	床面積 建築面積 求積図					M－08	給排水衛生平面詳細図3 現況・改修後
A－09	配置図 付近見取図 面積表						
A－10	内部改修仕上表						
A－11	平面図（改修前）						
A－12	平面図（改修図）						
A－13	断面図（1）						
A－14	断面図（2）						
A－15	アルミ庇取付工事						
A－16	天井伏図						
A－17	幼児用便所（A）平面詳細図 詳細図						
A－18	幼児用便所（A）展開図						
A－19	職員便所 平面詳細図 展開図						
A－20	沐浴室 調乳室 平面詳細図						
A－21	給食室、踏込（B）平面詳細図						
A－22	建具指示図					K－01	概略工事工程表
A－23	建具表（1）						
A－24	建具表（2）					N－00	図面裏表紙
A－25	建具表（3）						
A－26	建具表（4）						

工事概要						
1. 工事場所	三重県志摩市阿児町安乗 629番地1	A 園舎改修建築工事	B 電気設備改修工事	C 機械設備改修工事	D 解体撤去工事	
2. 改修建物用途	安乗保育所	A1 直接仮設工事	B1 電灯設備工事	C1 衛生器具設備工事		
3. 改修建物規模	（園舎） 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 876.08 m ²	A2 幼児用便所（A）改修工事	B2 コンセント設備工事	C2 屋内給水設備工事		
4. 改修内容		A3 職員便所改修工事	B3 火災報知設備工事	C3 屋内排水通気設備工事	E 発生材運搬費	
		A4 給食室床改修工事		C4 給湯設備工事		
	A 園舎改修建築工事	A5 踏込（B）床改修工事		C5 ガス設備工事		
	B 電気設備改修工事	A6 調乳室床改修工事			F 発生材処分費	
	C 機械設備改修工事	A7 沐浴室改修工事				
	D 解体撤去工事	A8 新規軽量スチール建具工事				
	E 発生材運搬	A9 遊戯室網戸増設工事				
	F 発生材処分	A10 木製建具改修工事				
		A11 アルミ庇取付け工事				

特記仕様書： 共通事項・仮設工事		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」による。(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 電気設備工事の工事仕様書は()図、 機械設備工事の工事仕様書は()図による。 (3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。 改修工事の工事仕様書は()図による。 (4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項の中で選択する事項(・印の付いたもの)は、○印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。		① 共通事項	・別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ○建築設備、内装材等 ○有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根ふき材 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材・上部構造部分 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ○その他 ○有 ・手作業 (土間コンクリート) ・無 ○手作業と機械作業の併用 ・別表2 建築物に係る新築工事等(・新築・増築・修繕・模様替) 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ・造成等 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材・上部構造部分 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・建築設備、内装等 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・その他 ・有 ・手作業 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・別表3 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等(・外構・工作物等) 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ・仮設 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・土工 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・本体構造 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・本体付属品 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・その他 ・有 ・手作業 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 手作業・機械作業を併用する理由 建設設備の取り外し() 内装材の取り外し() 屋根ふき材の取り外し()	① 共通事項	3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所帯していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料 ・有 ・無 ・() ・() ・() ・() 6) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。 7) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。	① 共通事項	16) 工事写真 工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備(建設大臣官房官庁営繕部監修)を参考に撮影する。 提出部数 1部 17) 完成写真 撮影箇所数 ○外観4面程度 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ○電子データ 1部 画素：長辺で2880P I X以上 記録方式：R G B (フルカラー) ・ J P E G 最高画質 記録媒体：C D - R (I S O) ・カラープリント キヤノン版()部 アルバム(大きさ335mm×290mm程度) ・無し ○有り 18) 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 19) 養生その他 工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にしない補修する。 20 消防提出書類 ・消火器の設置届については、電気及び機械設備について設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 ・防火対象物使用開始届については書類作成(建築図面の用意及び建築に関する部分の記述)を行うこと。 21) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの)期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ○検査終了後の期間 検査完了後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。 22) 官公署その他への届出手続及び検査 a 関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監督職員に提出する。 b 関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監督職員と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監督職員に報告する。 c bの検査の結果、不合格の箇所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行い、その結果を監督職員報告する。 d cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。 23 総合図の作成 ・総合図は、施工者が、発注者の直接発注工事を含めた工事の全体概要と相互関係を把握し、工種別施工図の適正化と効率化の為に活用することを目的とする。 ・工種別施工図に先行して作成し、監督職員の承諾を受ける。 ・監督職員の指示により、建築工事施工者が元図(平面図、展開図、天井伏図等)を作成する。設備その他の各関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整をおこなう。 ・施工に関する調整は施工者間で先行、設計図書の調整、発注者の直接発注工事、及び設計変更に関する調整は監督職員が行う。 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速(Vo) ・30 ・32 ・34 ・36 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・積雪荷重 建設省告示 第1455号における区域 別表() 25 技能士 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと 26 火災保険等 工事請負契約約款第55条の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。 1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(支給材料を含む) 2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額 27) 交通誘導員 ○仮設足場材の搬入時、搬出時配置すること。 2 仮設工事 ①足場 足場を設ける場合、[2.2.4] (b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」(厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について(別紙1))における2の(2)手すり据置方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 ②監督職員事務所 ・設ける ○設けない 規模(m2程度) ・10 ・20 ・35 ・65 ・100 ③監督職員事務所等の備品等 備品等の設置 表 1 種 類 机・いす 書棚 農板・白旗 指時計 温度計 数 量 個 個 個 個 個 種 類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類のか 数 量 足 着 個 個 個 種 類 消火器 掃除具 請負者加入 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ 冷暖房機器 数 量 個 個 台 台 台 ④仮設便所 ・構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる ⑤工事用水 ・構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償・無償) ⑥工事電力 ・構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる(・有償・無償)
共通事項	① 適用基準等 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版)各図面において、(○-○○-○)内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編 建設大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版) ・三重県建設副産物処理基準 [1.1.4] 請負代金額が500万円以上(消費税込み)の元請負人は、工事実績情報を(財)日本建設情報総合センターの工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。 なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。 [1.2.1] 3 概成工期 総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね()日前までに支障のない状態まで完了していること。 [1.3.3] 4 電気保安技術者 ・適用する [1.3.5] ⑤施工条件 ・施工時間 (・指定なし ○監督職員と協議) ・施工順序 ○指定なし ・図示 ・工事用車両の駐車場 ○指定なし ・図示 ・資機材置場 ○指定なし ・図示 ・現場事務所 ○指定なし ・図示 ・建設発生土仮置場 (・指定なし ・図示 ○現場内処分とする) [1.3.11] ⑥発生材の処理等 ・引渡しを要するもの(・金属類 ・PCB含有物 ・ ・特別管理産業廃棄物(・廃石棉 ・ ・現場において再利用を図るもの(・ ・引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成して監督職員へ提出すること。 ○引き渡しに要する以外のものには、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用を促進する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し監督職員に報告する。 (マナPA、B2、D、E票を提示し、集計表を提出すること。)	① 環境への配慮 [1.4.1] 化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、断熱材はホルムアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難燃性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料を使用して					

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	特記仕様書（１）		A — 02
			共通事項・仮設工事	N/S	

3 浮き部改修工法

工法の種類

アンカーピンの本数
(本/m2)

注入口の箇所数
(箇所/m2)

注入量
(mL/箇所)

一般部

指定部

一般部

指定部

・アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング
エポキシ樹脂注入タイル固定工法

・タイル部分張替え工法

・タイル張替え工法

・外壁タイルの浮きを調査し、浮き部を特定し、施工する。
施工面積はタイル面のヘアークラック部分を重点的に行うものとし、

アンカーピンの材質
・ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピンの材質
・ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度
・
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系
・
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既調合モルタル）
・
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
・改修標準仕様書 表 4.5.11による
・
タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験
・行う ・行わない
・
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・タイル張りの工法
・外装タイル（・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り）
・ユニットタイル（・マスク張り ・モザイクタイル張り）
シーリング 改修特記仕様書 3 章 防水改修工事による
・
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・シーリングの種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ・変成シリコーン系 ・
シーリングのその他の事項は、改修特記仕様書 3 章 防水改修工事による

4 目地改修工法

・目地及び割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・
シーリングは、改修特記仕様書 3 章 防水改修工事による

5 タイルの形状、
寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分		うわぐすり	役物		色	耐凍害性	耐滑り性	備考
			I 類	II 類		施す有	無				
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲り及びひび割れは一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

4～4

外壁改修工事（塗り仕上げ外壁改修）

1 既存塗膜等の除去、
下地処理及び
下地調整

工 法

処 理 範 囲

下地面の補修

・サンダー工法

・既存仕上げ面全体 ・図示

・ひび割れ部改修工法

・高圧水洗工法

・既存仕上げ面全体 ・図示

・浮き部改修工法

・塗膜はく離工法

・既存仕上げ面全体 ・図示

・欠損部改修工法

・水洗い工法

・サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面
・図示 加圧力 10～15MPa

・下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
・規制対象外 ・
新規仕上塗材の種類

種 類	呼び名	防火材料	仕上りの形状及び工法等
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・外装薄塗材 E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材 E	・	・吸放湿性 ・適用する
	・外装薄塗材 S	・	
・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し ・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし
	・外装厚塗材 S i	・	
	・外装厚塗材 E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない 吸放湿性 ・適用する
・複層仕上 塗材	・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸状
	・可とう形複層塗材 C E	・	
	・複層塗材 S i	・	・耐候性 ・耐候形 3 種 ・
	・複層塗材 E	・	・上塗材
	・複層塗材 R E	・	・溶媒 ・水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・アクリル系 ・
	・防水形複層塗材 C E	・	・外観 ・つやあり ・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材 R E	・	
・可とう形 改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・凹凸状（ふっ素系） ・ローラー塗り
	・可とう形改修塗材 R E	・	・耐候性 ・耐候形 3 種 ・
	・可とう形改修塗材 C E	・	・上塗材 ・水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・アクリル系 ・シリコン 外観 ・つやあり ・つやなし ・メタリック

5 マスチック塗材
塗り

種類 ・ A 種 ・ B 種

外壁用塗膜防水塗り
仕上りの形状 ・ 工法 ・
外壁用仕上塗材の耐候性
・ JIS A 6909の耐候形 1 種相当 ・
下地準動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない
吹付け工法の模様材の種類 ・ ・所要量 (kg/m2)
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・所要量 (kg/m2)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

5 改修工法

建具改修工事

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

・アルミニウム製建具

・

・

・建具表による ・

・樹脂製建具

・

・

・建具表による ・

・鋼製建具

・外部

・

・建具表による ・

・内部

・

・

・建具表による ・

・鋼製軽量建具

・

・

・建具表による ・

・ステンレス製建具

・

・

・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
鍵部分の開口の開け方 ・図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ・図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書 3 章 防水改修工事による

2 防火戸

・指定する 適用箇所（ ・建具表による ・ ） ・指定しない
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる（ ・建具表による ・ ） ・連動させしない

3 見本の製作等

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

4 防犯建物部品

・適用する（ ） 適用箇所（ ・建具表による ・ ）
・適用しない

5 アルミニウム製
建具

性能値等
外部に面する建具の種類
・ A 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ B 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ C 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ・建具表による ・

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ・ ）

6 網戸等

性能値等
外部に面する建具の種類
・ A 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ B 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ C 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ・建具表による ・

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ）

7 樹脂製建具

性能値等
外部に面する建具の種類
・ A 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ B 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
・ C 種（建具符号： ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ・建具表による ・

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ）

8 鋼製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号： ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号： ・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号： ・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号： ・建具表による ・ ）
・
・
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ・ ）

鋼板の厚さ ・改修標準仕様書 表 5.4.2による ・ mm
ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・

9 鋼製軽量建具

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号： ・建具表による ・ ）
・
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ・ ）

鋼板の種類 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ・改修標準仕様書 表 5.4.2による ・ mm
ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・
召合せ、縦小口包み材の材質
・鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材

10 ステンレス製
建具

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号： ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号： ・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号： ・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号： ・建具表による ・ ）
・
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ・ ）

ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・
鋼板（屋内） ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

11 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等
・改修標準仕様書 表 5.7.1により適用は建具表による ・
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
・改修標準仕様書 表 5.7.2による ・建具表による
樹脂製建具丁番の枚数及び大きさ
・改修標準仕様書 表 5.7.3による ・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による ・
・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本線り錠】
品質 工事建築材料等品質性能表による
性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による
・錠前類 【レバーハンドル】
性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による
・クローザ類
品質・性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による

12 鍵

マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ※各室 3 本 1 組 ・
鍵箱 ・無 ・有
鋼製 ・10 ・20 ・30 ・60 ・120 ・200本用

13 自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表 5.8.5による 種類（ ）
多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表 5.8.6による
引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書 表 5.8.3による
戸の開閉方式
・建具表による ・
引き戸用検出装置の種類
※標準仕様書 表 5.8.4による 種類（ ） ・建具表による
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

14 自閉式上吊り引戸
装置

性能値等 ※標準仕様書 表 5.9.1による
試験方法 建築材料等品質性能表による

15 重量シャッター

シャッターの種類
・管理用シャッター耐風圧強度（ ） N/m2
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（ ） N/m2
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける（設置箇所 ・図示 ・）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・

16 軽量シャッター

開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ） N/m2
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 ・
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・）
スラットの形状 ・インターロックキング形 ・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッド
ドア

セクション材料
による区分

耐風圧性能
区分 (Pa)

開閉方式
による区分

収納形式
による区分

ガイドレール
の材料

※スチールタイプ ・125 (1250) ※バランス式 ・スタンダード形
・アルミニウムタイプ ・100 (1000) ・チェーン式 ・ローヘッド形
・ファイバークラスチック ・75 (750) ・電動式 ・ステンレス鋼板
・50 (500) ・バーチカル形

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ・図示 ・

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和 3 年度 安乗保育所改修工事			A — 05
				特記仕様書(建築：改修) (4)	N/S	

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事			A — 06
			特記仕様書(建築：改修) (5)	N/S	

⑤

建具改修工事

[3. 7.] [5. 13. 2~4]

19 ガラス

フロート板ガラス
品厚及び厚さの呼びによる種類
・ 建具表による ・

型板ガラス
厚さによる種類
・ 建具表による ・

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・ 建具表による ・

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・ 建具表による ・
形状による種類
・ 平面合わせガラス ・ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・ I 類 ・ II－I 類 ・ II－2 類 ・ III 類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・ 建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・ I 類 ・ III 類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・ 建具表による ・

性能による種類
・ I 種 ・ 2 種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・ 建具表による ・
断熱性による区分
・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・ G ・ S
乾燥気体の種類
・ 空気 ・ アルゴン ・

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 建具表による ・
日射熱遮へい性による区分
・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・ A 類 ・ B 類
映像調整
・ 行わない ・ 行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・ 建具表による ・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	・建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	・建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材 ・	・建具の製造所の仕様による ・図示

[5. 13. 5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整	防火性能
			ｸﾗﾌﾞ乳白	平積み	曲面積み	目地位置(mm)
・正方形	・125×125 ・160×160	80 95 125	・ ・ ・	・8～15 ・15～25 ・	外側 15以下 内側 6以上	・6m以下ごとに幅10～25 ・無し ・有り ・図示
	・200×200	95 125	・ ・			
	・320×320	95	・			
・長方形	・250×125 ・320×160	80 95	・ ・			

[20] ガラス用フィルム

種 類	記号		性 能 等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルム	・S C－1	・S C－2	日射遮蔽性能による区分 ・A・B・C・D・E
・低放射フィルム	・L E		熱貫流率による区分 ・A・B・C・D
○衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○G I－1	・G I－2	
・			
品質 JIS A 5759による。			

[6. 1. 3]

⑥

内装改修工事

1 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
・壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
・既存のまま ○図示

ビニル床シート等の除去 ・仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ・図示

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
・改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ・図示）

2 既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

6 造作用集成材

[6. 5. 2]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			・2級		・A種・B種		・
			・2級		・A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			・上小節		・A種・B種		・
見え掛り面以外			・小節以上		・A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			・1等		・10%以下 ・A種・B種		・
			・1等		・10%以下 ・A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			() 造作材の場合(・A種・B種)	・適用する ・適用しない	・A種・B種	・
			() 造作材の場合(・A種・B種)	・適用する ・適用しない	・A種・B種	・

ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・

[6. 5. 2]

・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				・1等・2等	・
				・1等・2等	・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					・1等・2等	・
					・1等・2等	・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
					・1等・2等	・
					・1等・2等	・

・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				・15%以下	・
				・15%以下	・

[6. 2. 2]

7 造作用単板積層材

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
保育室(E)		・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し()	・適用する ・適用しない	・
		・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し()	・適用する ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し()	・14%以下 ・適用しない	・適用する ・	

[6. 5. 2]

8 床張り用合板等

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・5. 5		・1類 ・2類	・広葉樹 ・針葉樹 ・C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・5. 5		・1類 ・2類	・広葉樹 ・針葉樹 ・C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・2級以上 ・1級		・1類 ・2類 ・特類	・C-D以上 ・	・12 ・	・適用する ・適用しない ・適用しない	・	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類・2類	・適用する()

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1類・2類			・適用する()	・

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	厚さ(mm)
		・13タイプ ・	・P又はM ・		・15 ・

[6. 5. 3, 4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4, 5]

9 接着剤

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ・規制対象外 ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種別
・図示 ・

[6. 5. 5]

10 防塵・防蟻処理

・防塵、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位 ()

・薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K 2 ・K 3 ・K 4

・薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	・改修標準仕様書6. 5. 5 (1) (b) ② 7~①による ・	・JIS A 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理
適用部位 ()

[6. 6. 2~4]

野縁等の種類
屋外 ・25形 ・19形
屋内 ・19形 ・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる（・1 ・1. 15 ・1. 3）の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びびんサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・

既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの確認試験
・行う
箇所数 ・屋内の場合、当該階において3箇所 ・
確認強度
・吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m² 以内の天井の場合、400N程度 ・
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ・図示 ・
・天井のふところなどが1. 5m以上3. 0m以下の場合の補強方法
・改修標準仕様書6. 6. 4 (8) による ・
・天井のふところなどが3. 0mを超える場合の補強方法 ・図示 ・
・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ・図示 補強方法 ・図示

[6. 7. 3] [表6. 7. 1]

12 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
・改修標準仕様書 表6. 7. 1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示
スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ・図示 ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
・改修仕様書6. 7. 4 (5) による ・図示

[6. 8. 2, 3]

⑬ ビニル床シート

種類の記号	色 柄	厚さ(mm)
○FS ・	・無地 ○マーブル柄 ・柄物	○2. 0 ・
・防滑性シート		○ソフトエンボス柄

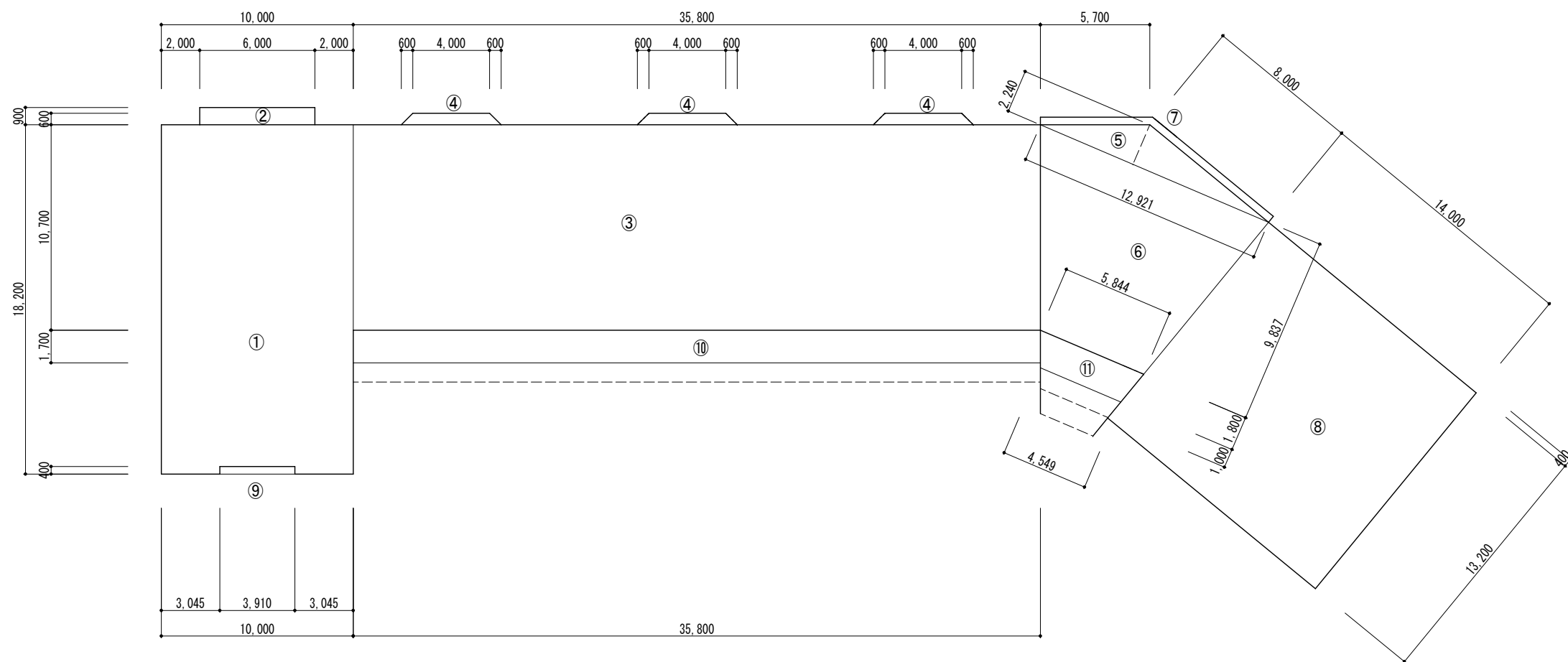
目地処理する場合の工法 ○熱溶接工法 ○巻上げ工法

[6. 8. 2]

14 ビニル床タイル

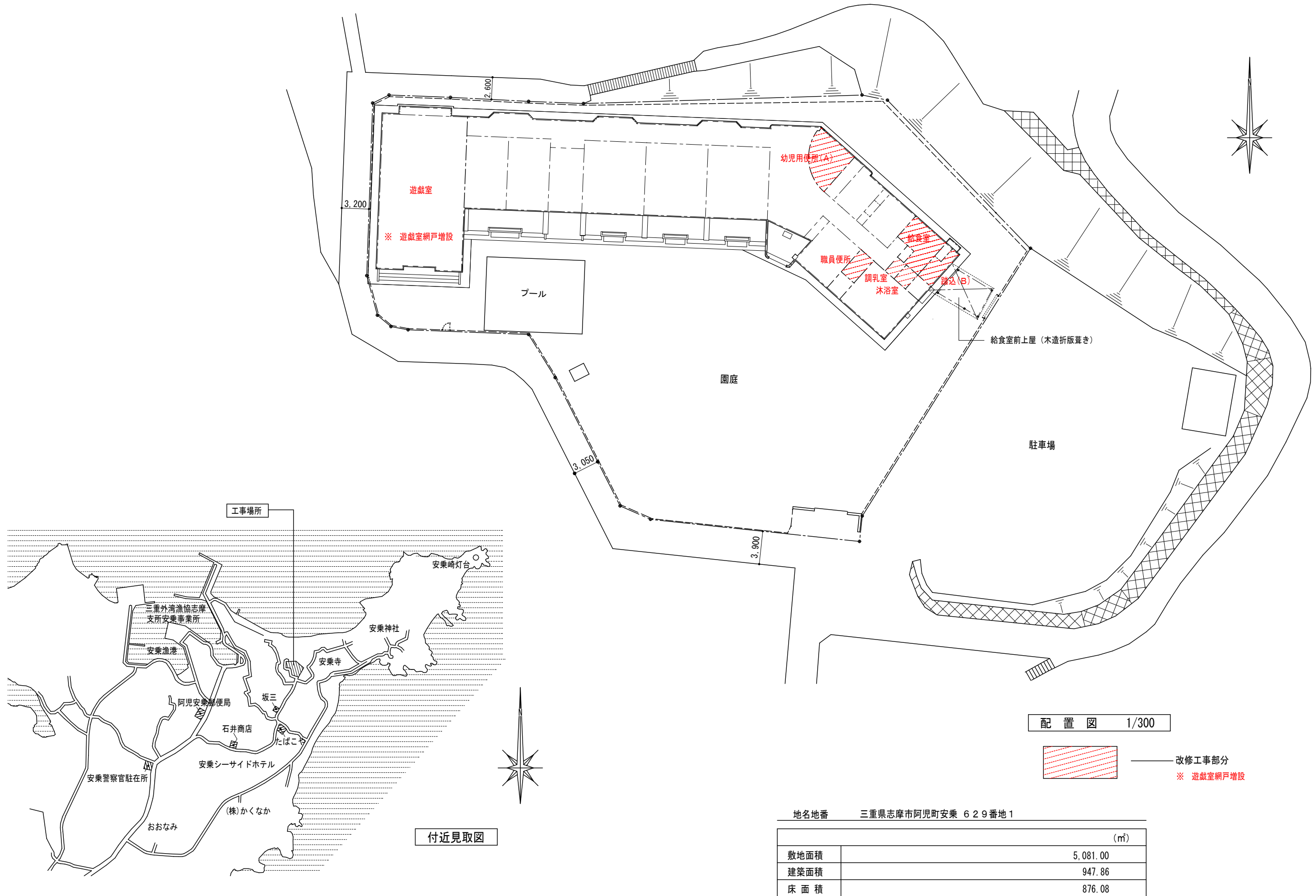
種類の記号	色 柄	寸 法	厚さ(mm)
・K T ・T T ・F T ・F O A ・F O B	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2. 0 ・2. 5 ・3. 0

⑥ 内装改修工事	15 特殊機能床	[6. 8. 2]	・帯電防止床シート 種類（ ） 性能（ ） 厚さ（ ）mm ・帯電防止床タイル 種類（ ） 性能（ ） 寸法（ ）×（ ）mm 厚さ（ ）mm ・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による 種類（ ） 形状（ ） ・耐動荷重性床シート 種類（ ） 厚さ（ ）mm ・防滑性床シート 種類（ ） 厚さ（ ）mm ・防滑性床タイル 種類（ ） 寸法（ ）×（ ）mm 厚さ（ ）mm 材質の種類 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ・60 ・75 ○100 厚さ(mm) ・1.5以上 ・ 種類 ・単層品 ・積層品 色柄（ ） 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm)（ ） ・織じゅうたん <table><tr><th colspan="2">織り方</th><th colspan="2">バイル形状</th></tr><tr><td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td><td></td><td>・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル</td><td></td></tr></table> 色柄（ ） ※模様のない無地） バイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別（ ・A種 ・B種 ・C種 ） ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ 下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・ ・タフテッドカーペット <table><tr><th colspan="2">バイル形状</th><th colspan="2">バイル長さ（mm）</th><th colspan="2">工 法</th><th rowspan="2">帯電性</th></tr><tr><td>・カットバイル</td><td></td><td>・5～7 ・</td><td></td><td>・全面接着工法 ・グリッパ工法</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>・ループバイル</td><td></td><td>・4～6 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 下敷き材（グリッパ工法の場合） ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・ニードランチャカーペット 厚さ（mm）（ ） 帯電性 ・適用する ・適用しない ・タイルカーペット <table><tr><th colspan="2">バイルの形状</th><th colspan="2">種 類</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">寸 法</th><th rowspan="2">総厚さ（mm）</th></tr><tr><td>※ループバイル</td><td></td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td>・500×500 ・ ・500×500 ・ ・500×500 ・</td><td>・6.5 ・ ・6.5 ・6.5 ・</td></tr><tr><td>・カットバイル</td><td></td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td></td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> タイルカーペットの敷き方 平場 ・市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ・模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 材質（ ） 種類（ ） 形状等 ・図示 ・ [6. 10. 2～3]	織り方		バイル形状		・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット		・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル		バイル形状		バイル長さ（mm）		工 法		帯電性	・カットバイル		・5～7 ・		・全面接着工法 ・グリッパ工法	・適用する ・適用しない	・ループバイル		・4～6 ・					・カット、ループ併用							バイルの形状		種 類		施工箇所	寸 法	総厚さ（mm）	※ループバイル		・第一種 ・第二種		・500×500 ・ ・500×500 ・ ・500×500 ・	・6.5 ・ ・6.5 ・6.5 ・	・カットバイル		・第一種 ・第二種					・カット、ループ併用		・第一種 ・第二種					⑥ 内装改修工事	20 フローリング張り	・単層フローリング（フローリングボード1等） 工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ） ・接着工法 樹種 ・なら ・ 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない ・単層フローリング（フローリングブロック1等） 樹種 ・ 厚さ ・ 大きさ ・ 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない ・複合フローリング 工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ） ・接着工法 樹種 ・なら ・オーク 種別 ・A種 ・B種 ・C種 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・F☆☆☆☆ 接着工法の場合の裏面緩衝材 ・合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ・ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・UV抗菌耐摩耗塗装 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N） 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ） ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・ ・木質系セメント板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・繊維板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・パーティクルボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・吸音材料 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・せっこうボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・普通合板 表板の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ） 表面性能 ・ 厚さ ・図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない せっこうボード等の下地 ・図示 遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ） ・適用しない 合板類の張付け ・B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・ [6. 12. 2]	⑥ 内装改修工事	21 畳敷き	[6. 12. 2]	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N） 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ） ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・ ・木質系セメント板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・繊維板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・パーティクルボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・吸音材料 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・せっこうボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・普通合板 表板の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ） 表面性能 ・ 厚さ ・図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない せっこうボード等の下地 ・図示 遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ） ・適用しない 合板類の張付け ・B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・ [6. 13. 2、3]	⑥ 内装改修工事	22 せっこうボード その他のボード 及び合板張り	[6. 13. 2、3]	合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・ ・木質系セメント板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・繊維板 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・パーティクルボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・吸音材料 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・せっこうボード 種類・厚さ（ ・図示 ・ ） ・普通合板 表板の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ） 表面性能 ・ 厚さ ・図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない せっこうボード等の下地 ・図示 遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ） ・適用しない 合板類の張付け ・B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・ [6. 14. 2～3]	⑥ 内装改修工事	23 壁紙張り	[6. 14. 2～3]	壁紙の種類 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="5">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>紙</th><th>織種</th><th>プラスチック</th><th>無織紙</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃</td><td></td></tr></table> モルタル、プラスター面の下地調整の種別 ・R B種 ・ コンクリート面の下地調整の種別 ・R B種 ・ せっこうボード面の下地調整の種別 ・R B種 ・ 材種 ・塩化ビニル製 ・アルミニウム製 モルタル ・現場調合材料 （セメントは改修特記仕様書 8－2 コンクリート工事による） ・既調合材料（ ） 既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・図示 ・ ） ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ・2m2程度（最大目地間隔3m程度 ・ ） 種類 ・押し目地 ・ ・設けない ・防水剤 品質・性能 建築材料等品質性能表による 試験方法 建築材料等品質性能表による	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考	紙	織種	プラスチック	無織紙	その他		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		⑥ 内装改修工事	24 天井見切り縁			⑥ 内装改修工事	25 モルタル塗り	[6. 15. 3、5、6]	モルタル ・現場調合材料 （セメントは改修特記仕様書 8－2 コンクリート工事による） ・既調合材料（ ） 既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・図示 ・ ） ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ・2m2程度（最大目地間隔3m程度 ・ ） 種類 ・押し目地 ・ ・設けない ・防水剤 品質・性能 建築材料等品質性能表による 試験方法 建築材料等品質性能表による	⑥ 内装改修工事	26 タイル張り	[6. 16. 2～4]	伸縮調整目地の位置 床タイル（ ・縦、横とも4m以内ごと ・図示 ） 床タイル以外（ ・図示 ・ ） 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ○セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り タイルの形状、寸法等 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">形状 寸法 (mm)</th><th rowspan="2">再生 材料 の適 用</th><th colspan="3">吸水率に よる区分</th><th colspan="2">うわ ぐすり</th><th colspan="2">役物</th><th colspan="2">色</th><th rowspan="2">耐凍 害性</th><th rowspan="2">耐滑 り性</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>I 類</th><th>II 類</th><th>III 類</th><th>施 ゆ う</th><th>無 ゆ う</th><th>有</th><th>無</th><th>標 準</th><th>特 注</th><th>有</th><th>無</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ○行わない 見本焼き ・行う ○行わない 既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、 細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質・性能 建築材料等品質性能表による 試験方法 建築材料等品質性能表による ・既製調合目地材 品質・性能 建築材料等品質性能表による 試験方法 建築材料等品質性能表による ・有機系接着剤による質タイル（セラミックタイル）張り タイルの形状、寸法等 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">形状 寸法 (mm)</th><th rowspan="2">再生 材料 の適 用</th><th colspan="3">吸水率に よる区分</th><th colspan="2">うわ ぐすり</th><th colspan="2">役物</th><th colspan="2">色</th><th rowspan="2">耐凍 害性</th><th rowspan="2">耐滑 り性</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>I 類</th><th>II 類</th><th>III 類</th><th>施 ゆ う</th><th>無 ゆ う</th><th>有</th><th>無</th><th>標 準</th><th>特 注</th><th>有</th><th>無</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準塗厚(mm) ・ [6. 17. 2、3]	施工箇所	形状 寸法 (mm)	再生 材料 の適 用	吸水率に よる区分			うわ ぐすり		役物		色		耐凍 害性	耐滑 り性	備 考	I 類	II 類	III 類	施 ゆ う	無 ゆ う	有	無	標 準	特 注	有	無			・	・	○	・	・	○	・	○	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	施工箇所	形状 寸法 (mm)	再生 材料 の適 用	吸水率に よる区分			うわ ぐすり		役物		色		耐凍 害性	耐滑 り性	備 考	I 類	II 類	III 類	施 ゆ う	無 ゆ う	有	無	標 準	特 注	有	無			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	⑥ 内装改修工事	27 セルフベリング材 塗り	[6. 17. 2、3]	種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準塗厚(mm) ・ [6. 17. 2、3]	⑦ 塗装改修工事	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料
	織り方		バイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット		・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
バイル形状		バイル長さ（mm）		工 法		帯電性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・カットバイル		・5～7 ・		・全面接着工法 ・グリッパ工法	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ループバイル		・4～6 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
バイルの形状		種 類		施工箇所	寸 法	総厚さ（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※ループバイル		・第一種 ・第二種					・500×500 ・ ・500×500 ・ ・500×500 ・	・6.5 ・ ・6.5 ・6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・カットバイル		・第一種 ・第二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・カット、ループ併用		・第一種 ・第二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	紙	織種	プラスチック	無織紙	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	形状 寸法 (mm)	再生 材料 の適 用	吸水率に よる区分			うわ ぐすり		役物		色		耐凍 害性	耐滑 り性	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			I 類	II 類	III 類	施 ゆ う	無 ゆ う	有	無	標 準	特 注				有	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		・	・	○	・	・	○	・	○	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	形状 寸法 (mm)	再生 材料 の適 用	吸水率に よる区分			うわ ぐすり		役物		色		耐凍 害性	耐滑 り性	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			I 類	II 類	III 類	施 ゆ う	無 ゆ う	有	無	標 準	特 注				有	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

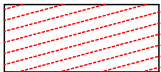


床面積・建築面積 求積図 1/200

床面積				
①	(10.000×18.200)－(3.912×0.400)	=	180.4352	
②	5.000 × 0.900	=	4.500	
③	35.800 × 10.700	=	383.060	
④	(5.200+4.000) × 0.600 × 1/2 × 4	=	11.040	
⑤	12.921 × 2.240 × 1/2	=	14.47152	
⑥	(12.921+5.844) × 9.837 × 1/2	=	92.2956525	
⑦	(5.700+8.000) × 0.400	=	5.480	
⑧	13.200 × 14.000	=	184.800	
合計			876.0823725	(876.08) m ²
建築面積算入部分				
⑨	3.910 × 0.400	=	1.564	
⑩	35.800 × 1.700	=	60.860	
⑪	(5.844+4.549) × 1.800 × 1/2	=	9.3537	
合計			71.7777	(71.78) m ²
建築面積	876.08+71.78=947.86			(947.86) m ²



配置図 1/300

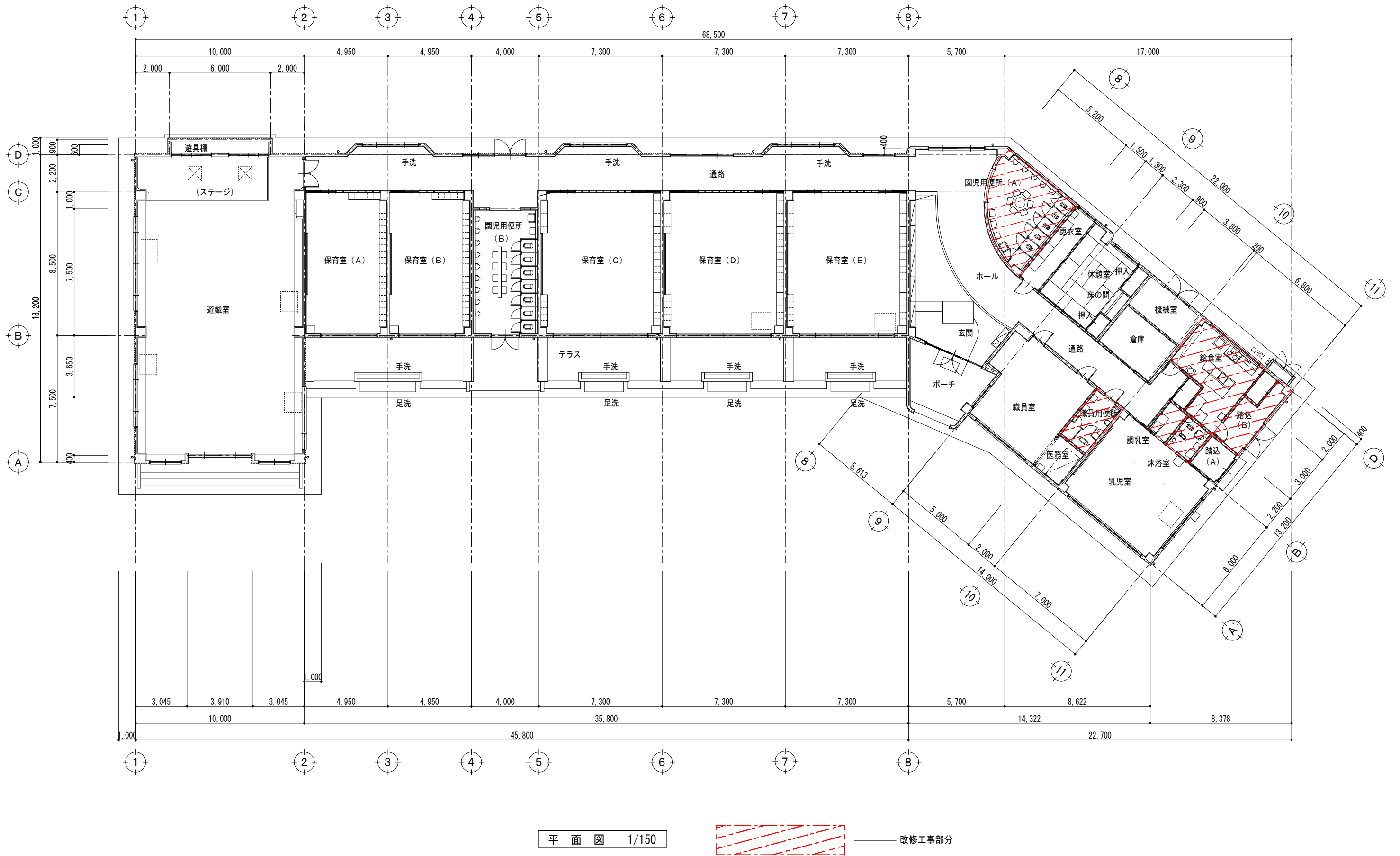


改修工事部分
※ 遊戯室網戸増設

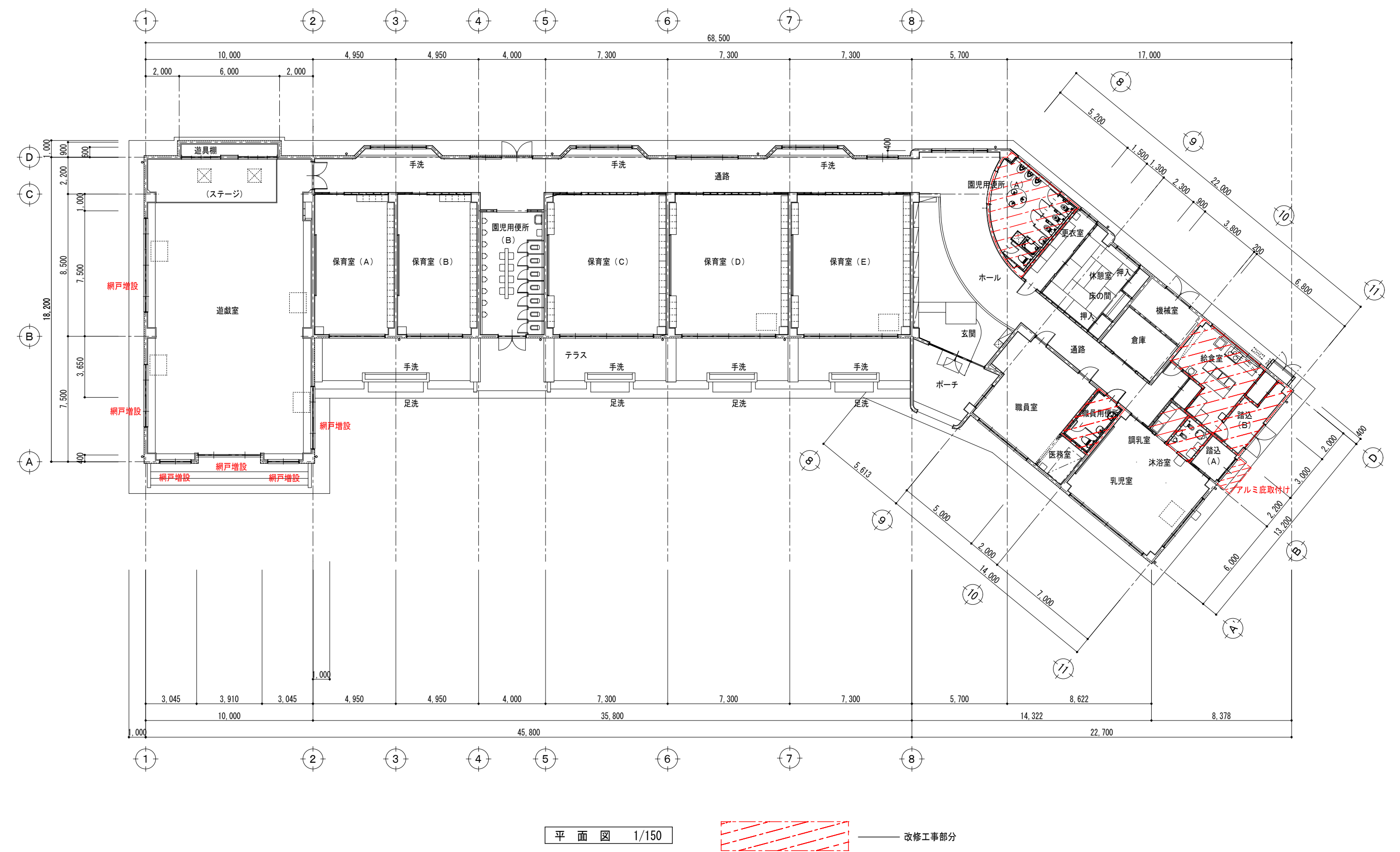
地名地番 三重県志摩市阿児町安乗 6 2 9 番地 1

	(㎡)
敷地面積	5,081.00
建築面積	947.86
床面積	876.08

内部改修仕上表				
室 名	部 位	既設仕上表	改修仕上表	照明器具LED化工事
幼児用便所 （A）	床	丸モザイクタイル貼り	床嵩上げコンクリート H=50 バリアフリー化 （既設床解体、衛生機器及び配管改修）コンクリート金コテ下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り(抗菌・防臭仕様)（耐湿工法）	LED化
	巾木	_____	長尺巾木 H=100（複層ビニル床シート t=2.0 貼上げ（耐湿工法・垂直面工法）	
	腰	半磁器100角タイル貼り H=1, 100	既設壁の上 軽量間仕切り (LSG W=50 一部 W=90) スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り 既設小便器バック解体撤去部分 モルタルコテミガキ 塗装下地素地ごしらえ（耐水形） 合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G) 塗装 (A種)	
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	既設壁の上 軽量間仕切り (LSG W=50 一部 W=90) スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り 既設モルタル下地 下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント （EP-G) 塗装 (B種)	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種)	
職 員 便 所	床	丸モザイクタイル貼り	床嵩上げコンクリート H=50 バリアフリー化 （既設床解体、衛生機器及び配管改修）コンクリート金コテ下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り(抗菌・防臭仕様)（耐湿工法）	LED化
	巾木	_____	長尺巾木 H=100（複層ビニル床シート t=2.0 貼上げ（耐湿工法・垂直面工法）	
	腰	半磁器100角タイル貼り	既設壁の上 軽量間仕切り LSG W=50 スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り	
	壁	半磁器100角タイル貼り	既設壁の上 軽量間仕切り LSG W=50 スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種)	
沐 浴 室	床	モザイクタイル貼り	幼児用衛生陶器更新（大2箇所、小1箇所）污水管接続（機械設備工事）床研り及び復旧 全面薄塗りモルタル金コテ押え下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り(抗菌・防臭仕様)（耐湿工法）	LED化
	巾木	_____	_____	
	腰	100角タイル貼り H=1, 200	存置	
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	存置	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置	
調 乳 室	床	複層ビニル床シート t=2.0貼り	既設複層ビニル床シート t=2.0貼替え（抗菌・防臭仕様）（耐湿工法）（既設シート撤去）	
	巾木	_____	_____	
	腰	100角タイル貼り H=1, 200	存置	
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	存置	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置	
給 食 室	床	モルタル金コテ押え	既設モルタル金コテ押え下地 高圧ポンプ水洗い洗浄（10～15MPa） 下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布 複層ビニル床シート（土足用）t=2.0 貼り(抗菌・防臭仕様)（耐湿工法）	
	巾木	_____	_____	
	腰	100角タイル貼り H=1, 000	存置	
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	存置	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置	
踏 込 （B）	床	モルタル金コテ押え	既設モルタル金コテ押え下地 高圧ポンプ水洗い洗浄（10～15MPa） 下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布 複層ビニル床シート（土足用）t=2.0 貼り(抗菌・防臭仕様)（耐湿工法）	
	巾木	_____	_____	
	腰	100角タイル貼り H=1, 000	存置	
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	存置	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置	
その他	遊戯室 網戸増設			
	踏込(A) 東側出入口上部 アルミ庇取付け			
	給食室 床改修に伴う既設厨房機器取外し移動 及び床改修後復旧			

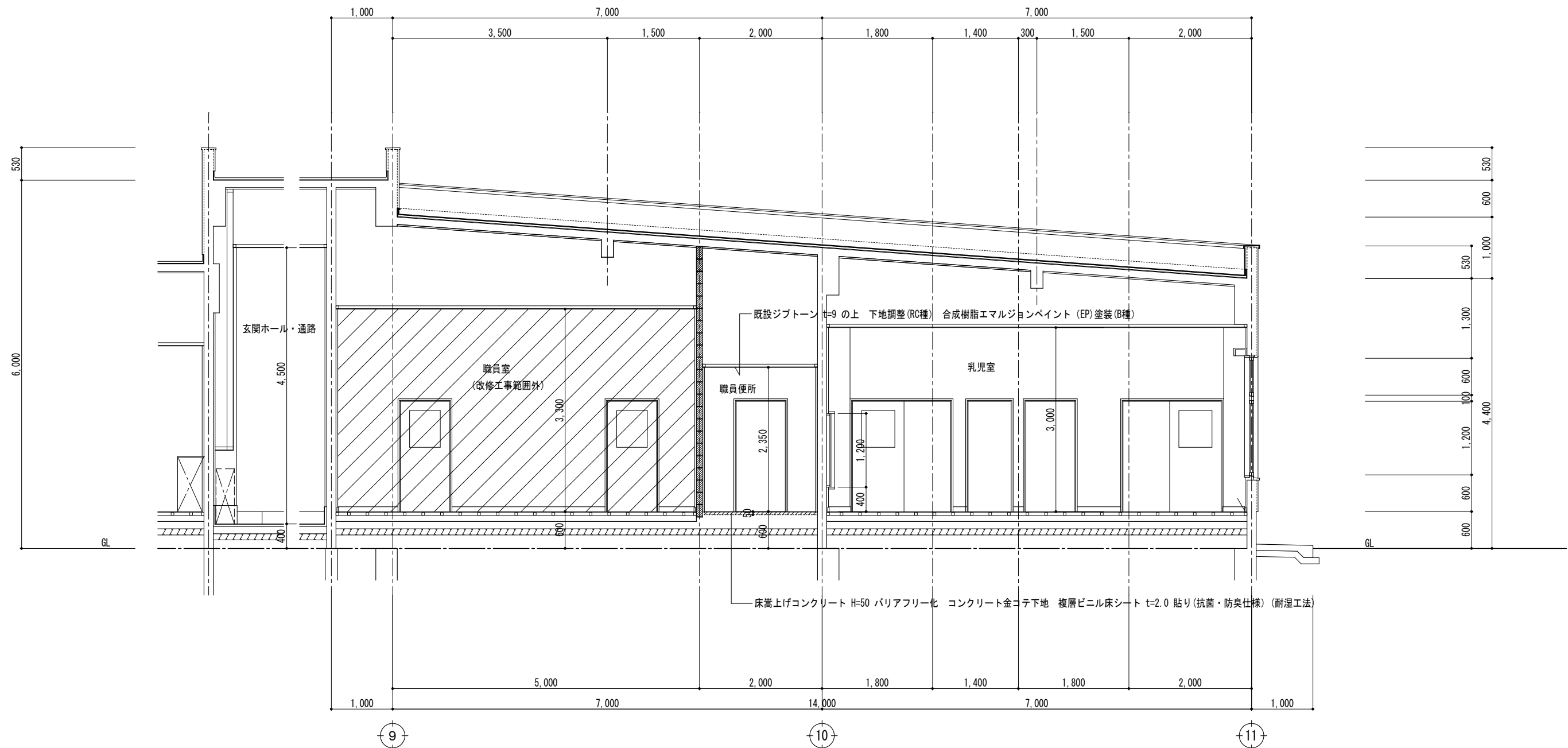


【改修前】						
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所		令 和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事			A — 11
	一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦			平 面 図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	



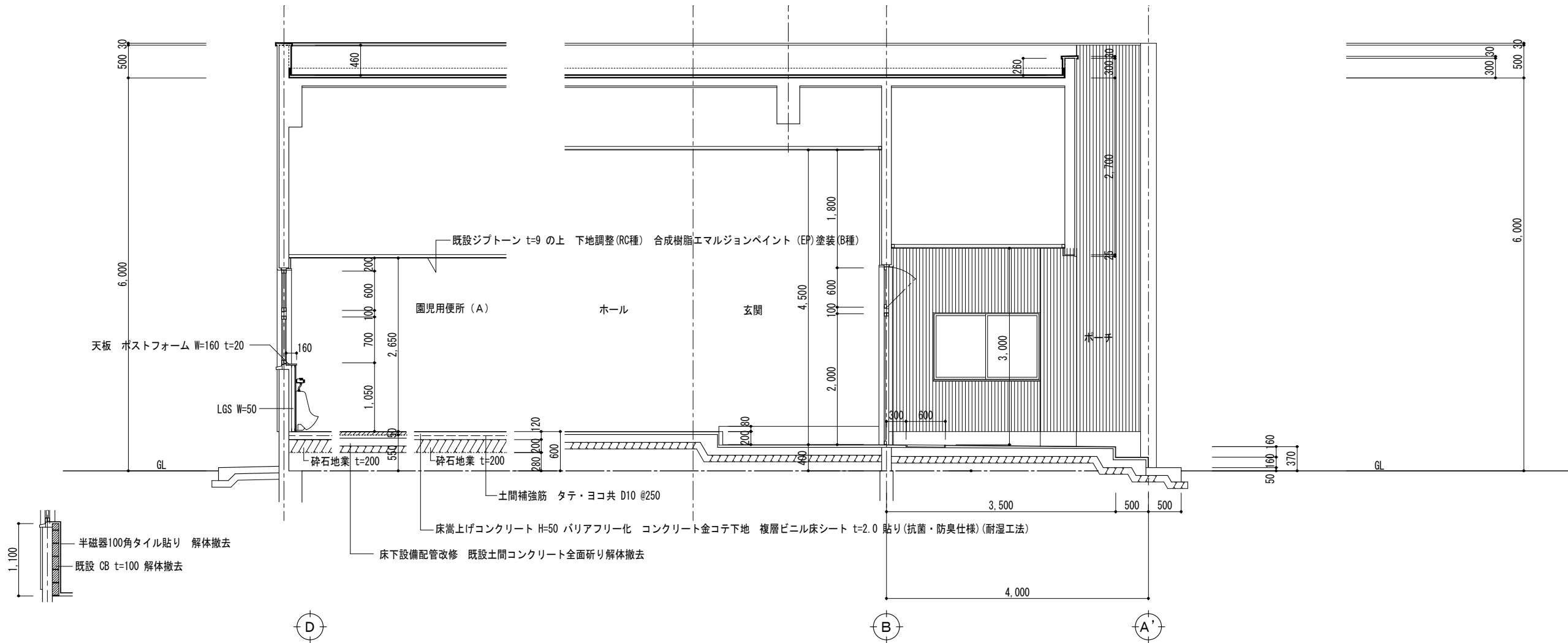
【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	平 面 図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 12



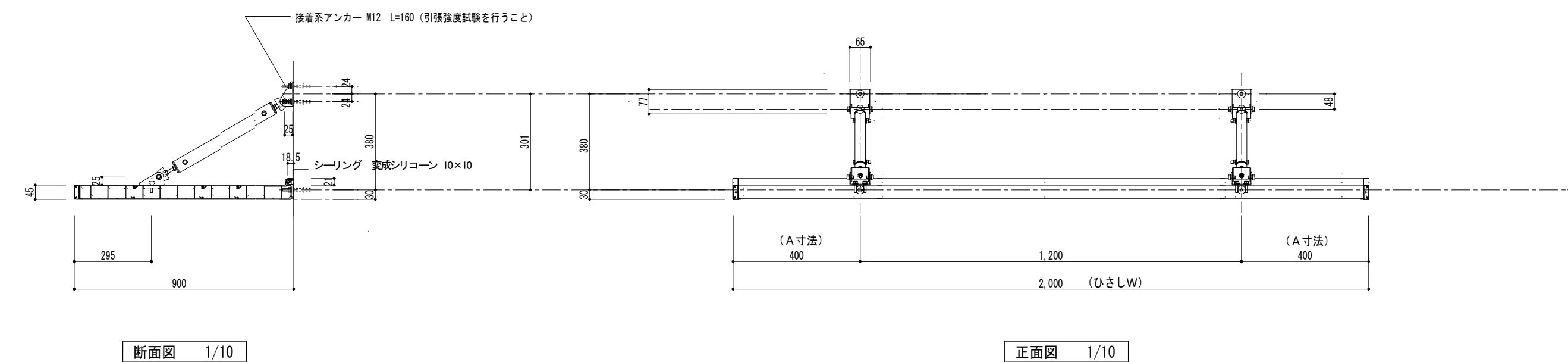
断面図（3） 1/50

内部改修仕上表				
室名	部位	既設仕上表	改修仕上表	
職員便所	床	丸モザイクタイル貼り	床嵩上げコンクリート H=50 バリアフリー化（既設床解体、衛生機器及び配管改修）コンクリート金コテ下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り（抗菌・防臭仕様）（耐湿工法）	
	巾木	_____	長尺巾木 H=100（複層ビニル床シート t=2.0 貼上げ（抗菌・防臭仕様）（耐湿工法・垂直面工法）	
	腰	半磁器100角タイル貼り	既設壁の上 軽量間仕切り LSG W=50 スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り	
	壁	半磁器100角タイル貼り	既設壁の上 軽量間仕切り LSG W=50 スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り	
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	下地調整(RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装(B種)	



断面図 (4) 1/50

内部改修仕上表			
室 名	部 位	既設仕上表	改修仕上表
幼児用便所 (A)	床	丸モザイクタイル貼り	床嵩上げコンクリート H=50 バリアフリー化 (既設床解体、衛生機器及び配管改修) コンクリート金コテ下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り (抗菌・防臭仕様) (耐湿工法)
	巾木	_____	長尺巾木 H=100 (複層ビニル床シート t=2.0 貼上げ (抗菌・防臭仕様) (耐湿工法・垂直面工法)
	腰	半磁器100角タイル貼り H=1,100	既設壁の上 軽量間仕切り (LSG W=50 一部 W=90) スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り 既設小便器バック解体撤去部分 モルタルコテミガキ 塗装下地素地ごしらえ (耐水形) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G) 塗装 (A種)
	壁	モルタル金コテ仕上げ (カンレイシヤ貼り) EP	既設壁の上 軽量間仕切り (LSG W=50 一部 W=90) スタッド@450 下地 コンパネ t=12 下地貼り 化粧けい酸カルシウム板 t=6目スカシ貼り 既設モルタル下地 下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G) 塗装 (B種)
	天井	ジブトーン t=9 (不燃第1013) 貼り	既設ジブトーン t=9 の上 下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種)

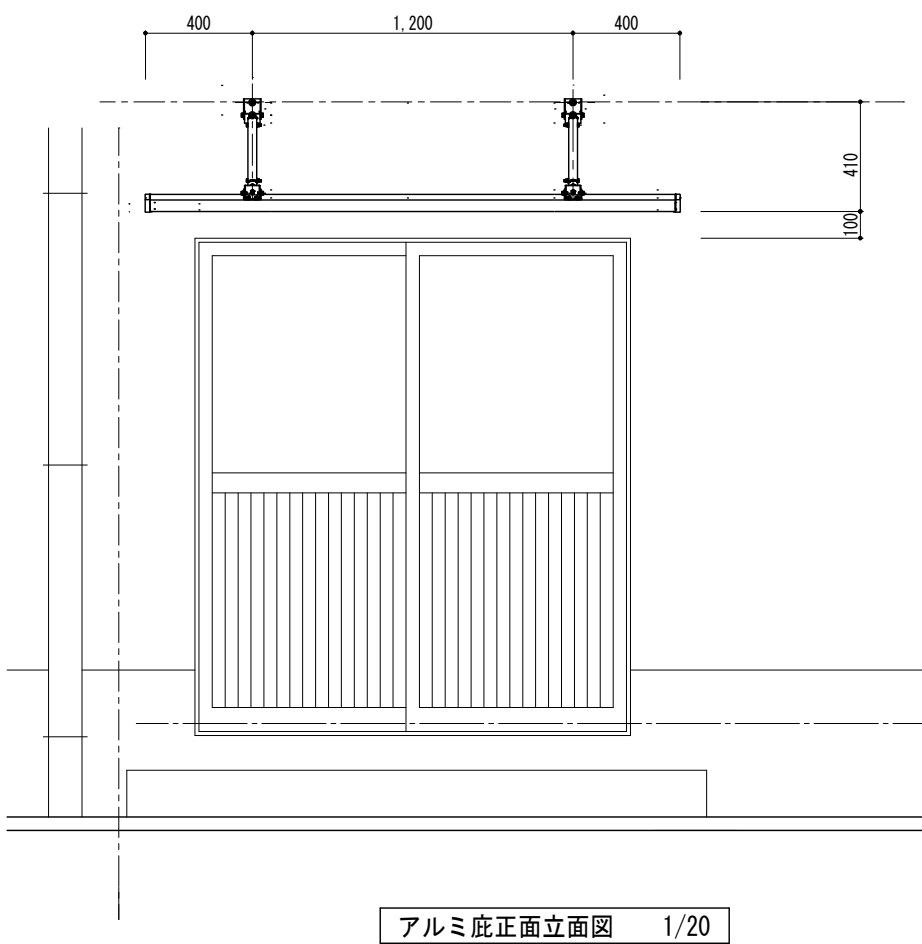


断面図 1/10

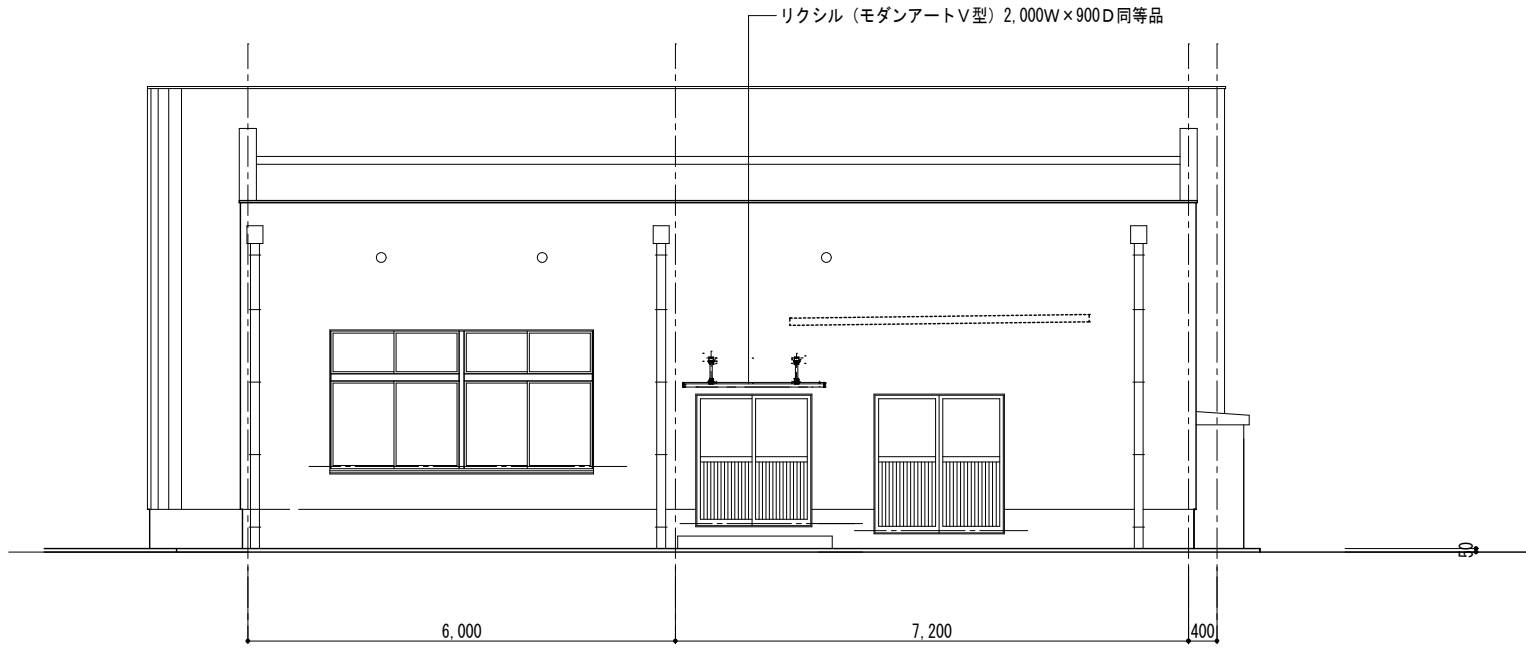
正面図 1/10

リクシル (モダンアートV型・ナチュラルシルバーF) 同等品

	ひさしW	P/2寸法	A寸法	吊りアーム
規格寸法	2,000	600	400	2本

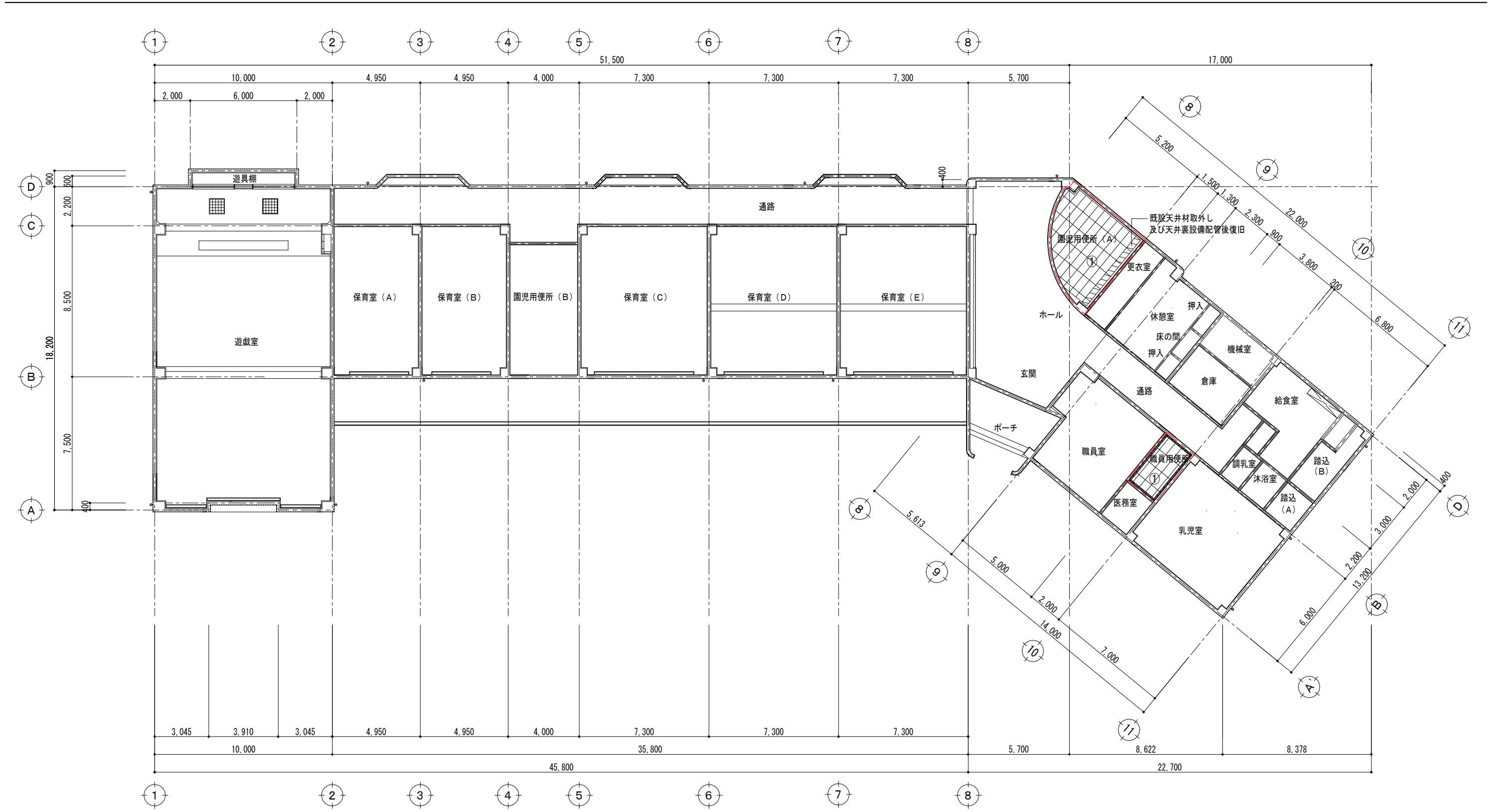


アルミ底正面立面図 1/20



東正面立面図 1/75

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和3年度 安乗保育所改修工事	アルミ底取付工事	A2 : 1/10 A3 : 1/14 A2 : 1/75 A3 : 1/105	A — 15
			正面図 断面図		
			立面図		



天井伏図 1/150

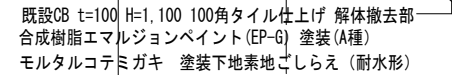
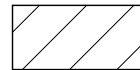
天井塗装改修部分

番号	既設天井仕上げ	改修内容
①	ジブトーン t=9 (455×910) 貼り	既設ジブトーン t=9 の上 下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種)



1/50

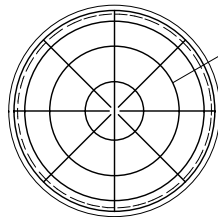
既設衛生器具、トイレブース解体撤去



1/50

碎石地業 $t=200$ 土間防湿ポリエチレンフィルム $t=0.15$ 敷き

—— 既設換氣扇取替え



※2 ピクトサイン

寸法 : 200H×200W

ベース : アクリル板 白 2mm厚

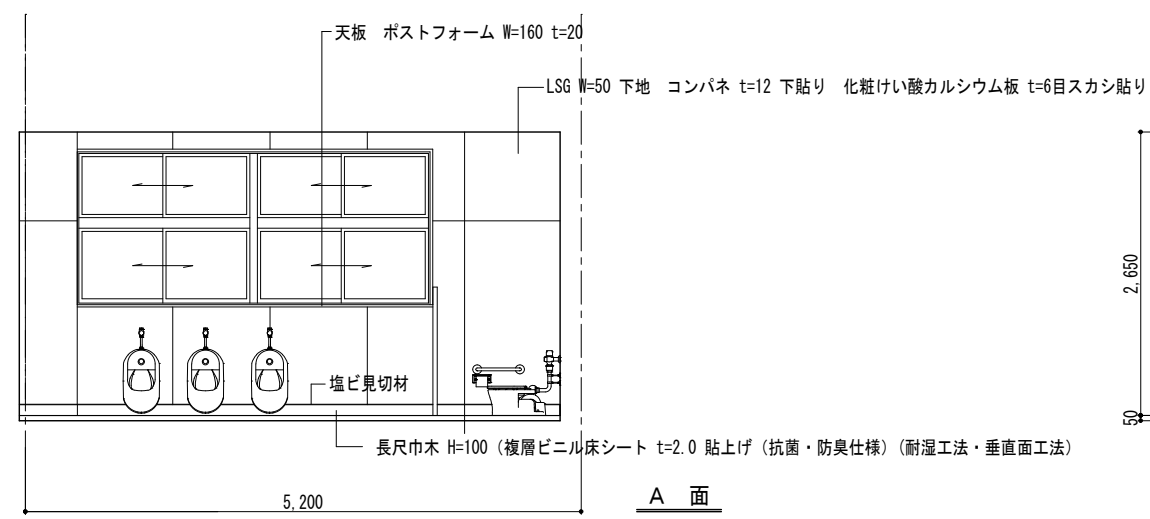
表示面 : 3Mスコッチカルシート (両面)

アルミブラケット用金物

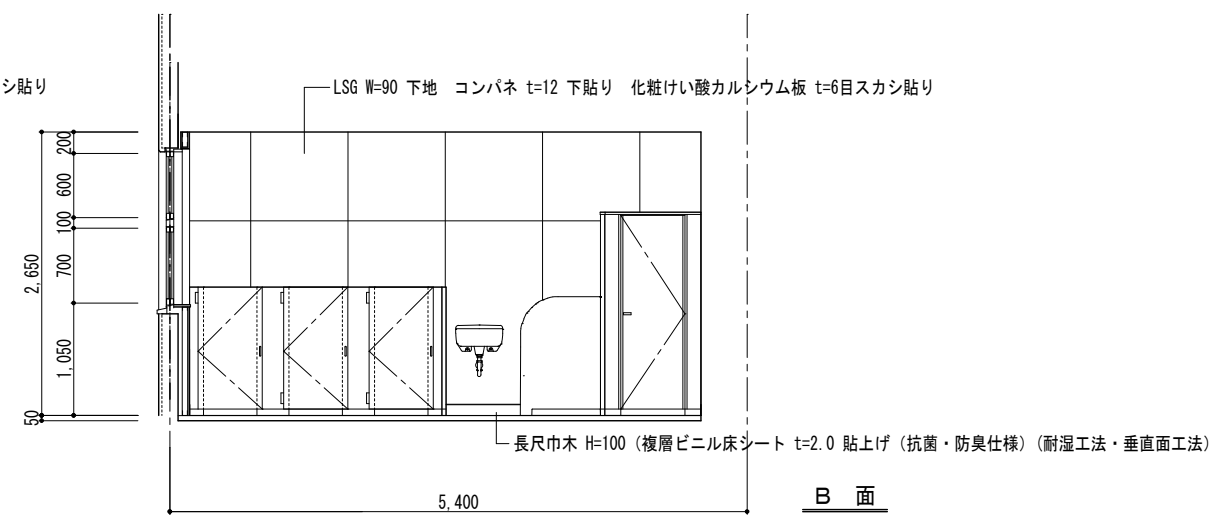
4色 マーク白抜き

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年度 安乗保育所改修工事			A — 17
			園児用便所(A) 平面詳細図	A2 : 1/50 A3 : 1/70	
			詳細図	A2 : 1/30 A2 : 1/42	

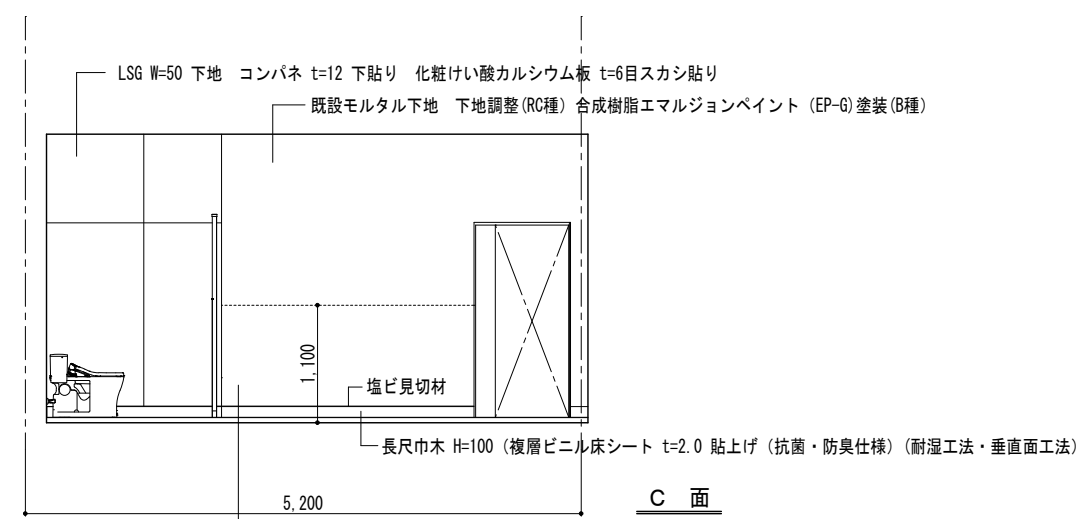
園児用便所（A）



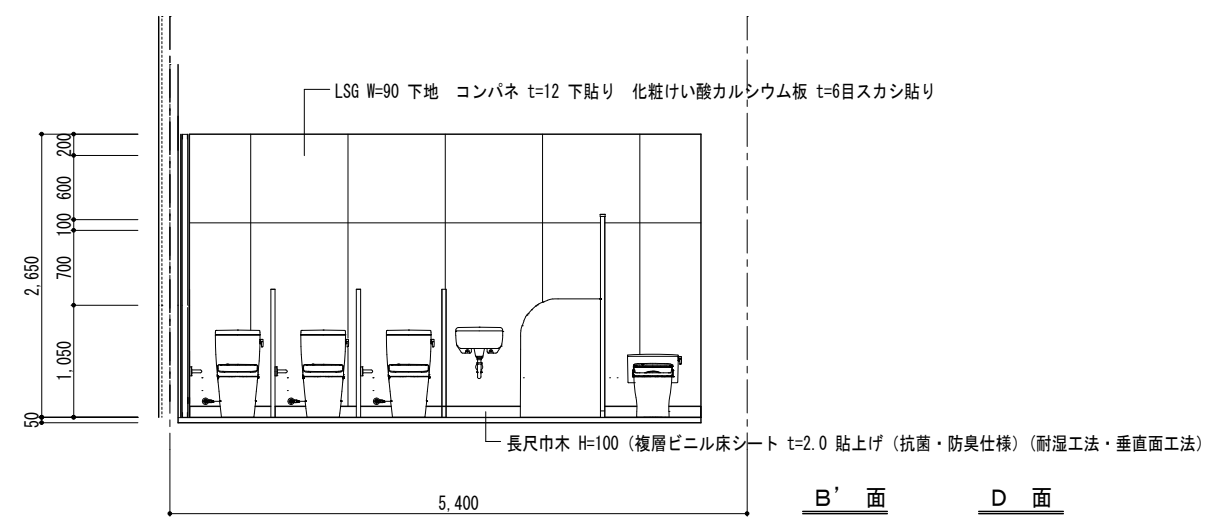
A 面



B 面

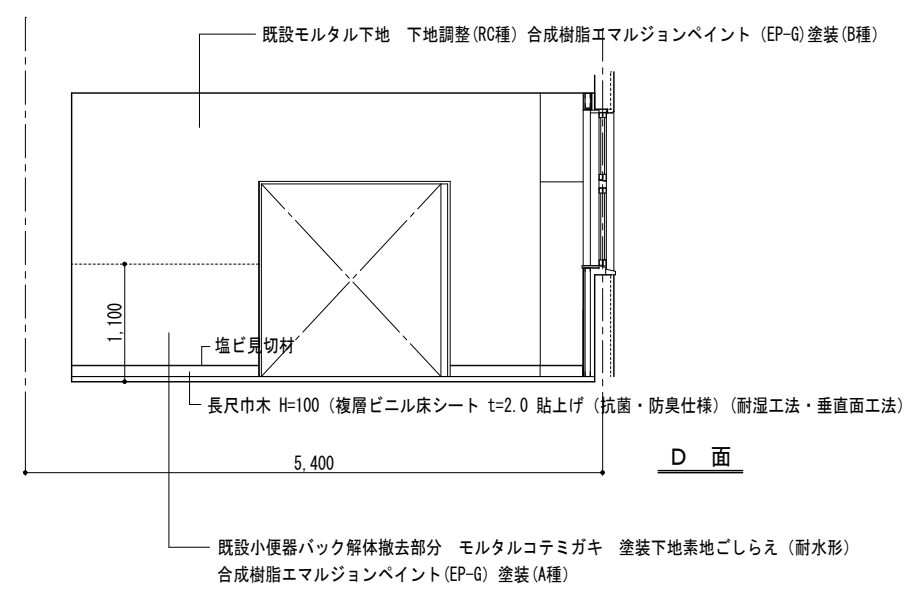


C 面



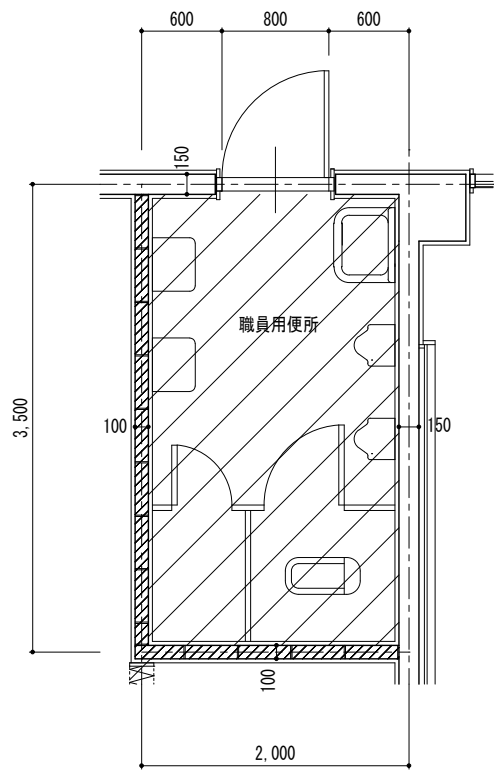
B' 面

D 面



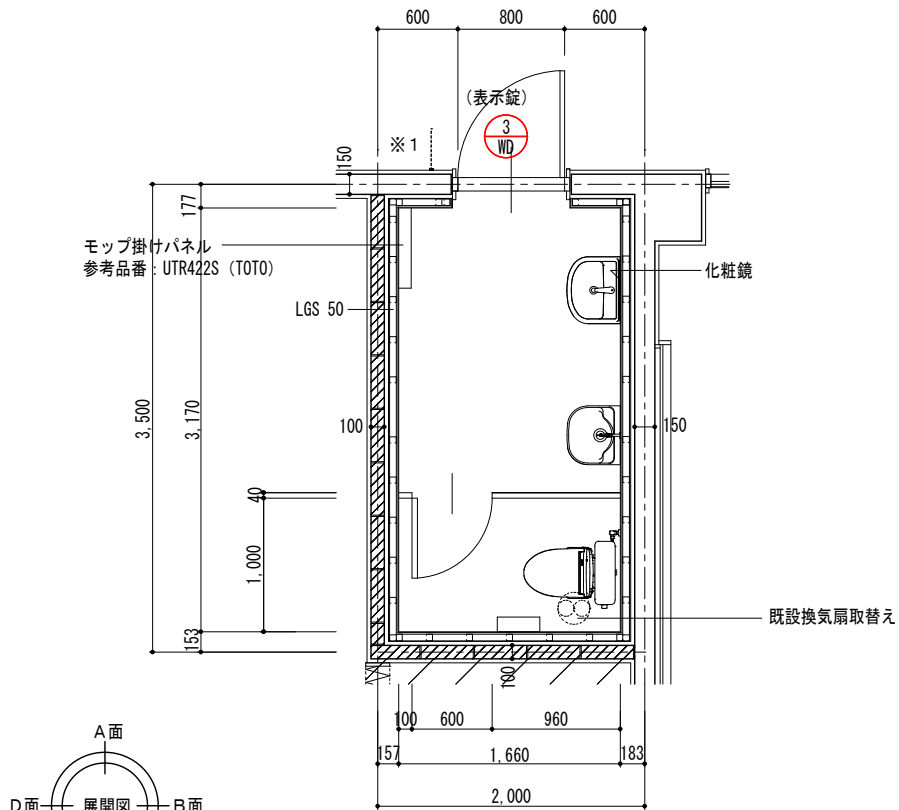
D 面

既設小便器バック解体撤去部分 モルタルコテミガキ 塗装下地素地ごしらえ (耐水形) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP-G) 塗装 (A種)



現況平面詳細図 1/40

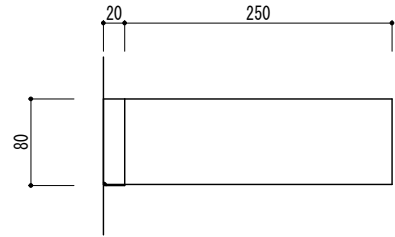
土間下設備配管改修にて既設土間コンクリート全面解体撤去
既設衛生器具一部解体撤去、トイレブース解体撤去



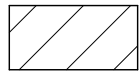
改修平面詳細図 1/40

床嵩上げコンクリート H=50 バリアフリー化 コンクリート金コテ下地 複層ビニル床シート t=2.0 貼り (抗菌・防臭仕様) (耐湿工法)
新規土間コンクリート打設 t=120 Fc=18N (土間補強筋 タテ・ヨコ共 D10 @250)
土間防湿ポリエチレンフィルム t=0.15 敷き
砕石地業 t=200

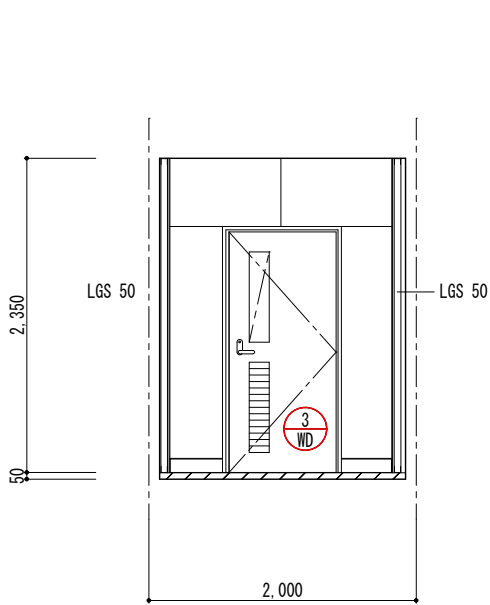
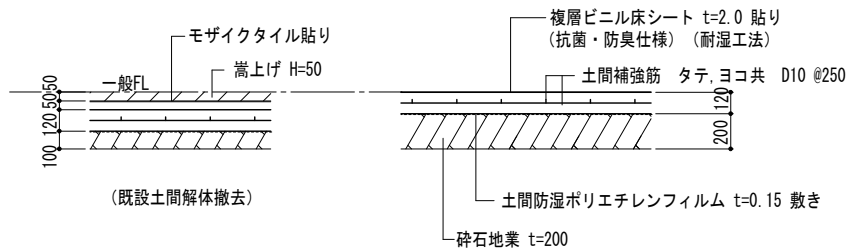
—— 既設換気扇取替え



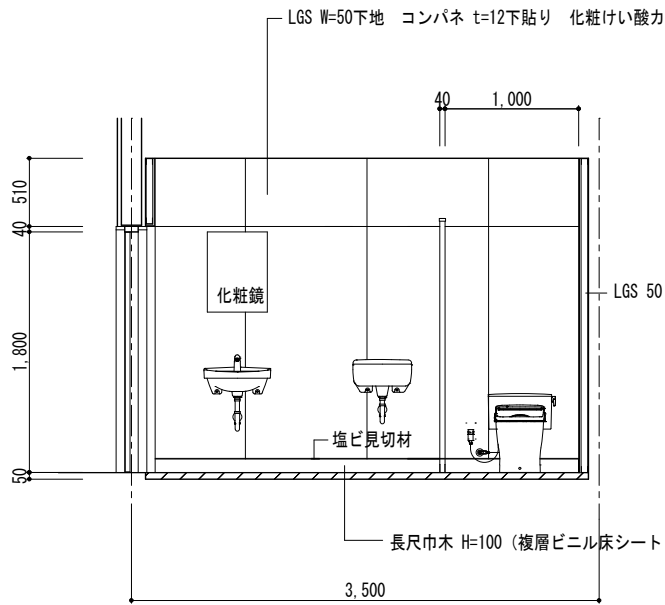
※1 室名札
寸法 : W270×H80
ベース : アクリル板 白 5mm厚
スライドレール : アルミ型材
UV印刷 (両面) 共 【トイレ】
(参考図)



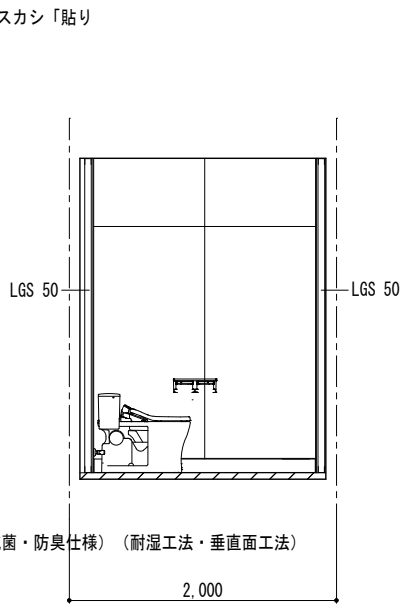
—— 既設土間コンクリート研り解体撤去
床 土間コンクリート打設 t=120 (Fc=18N) (土間補強筋 タテ、ヨコ共 D10 @250)



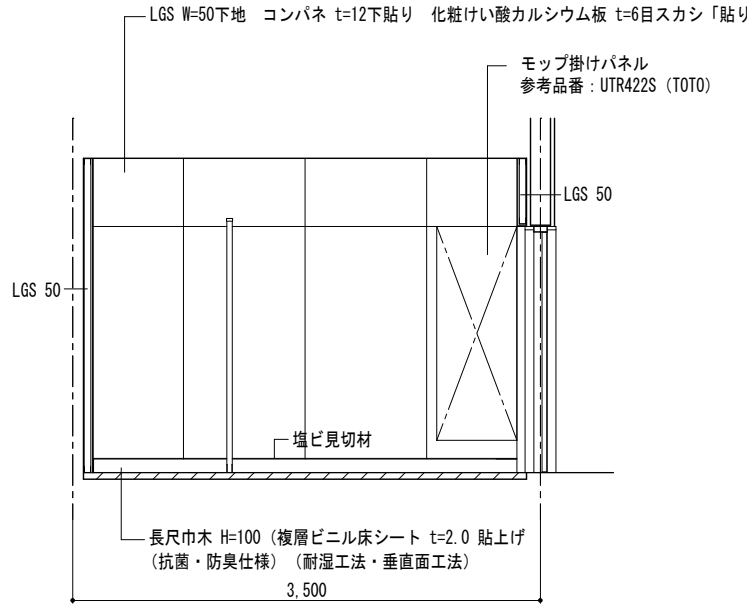
A 面



B 面

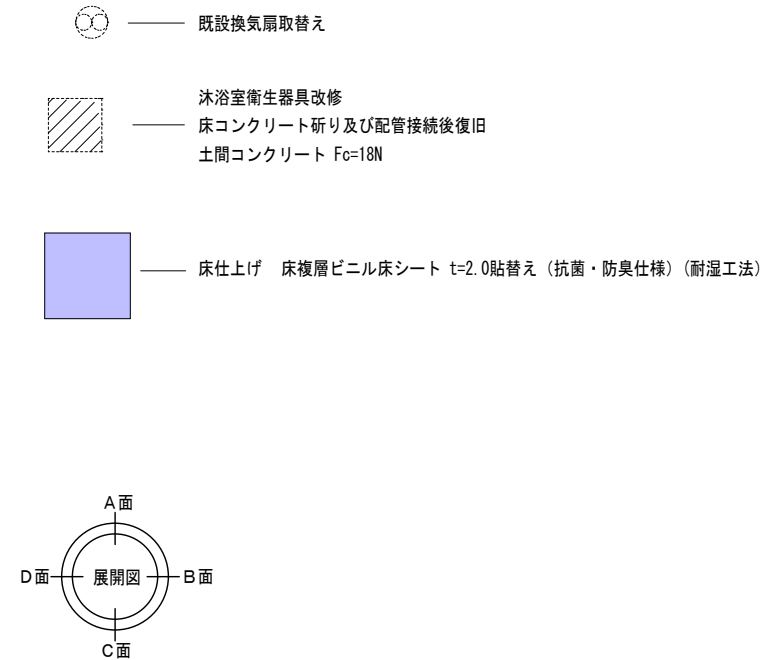
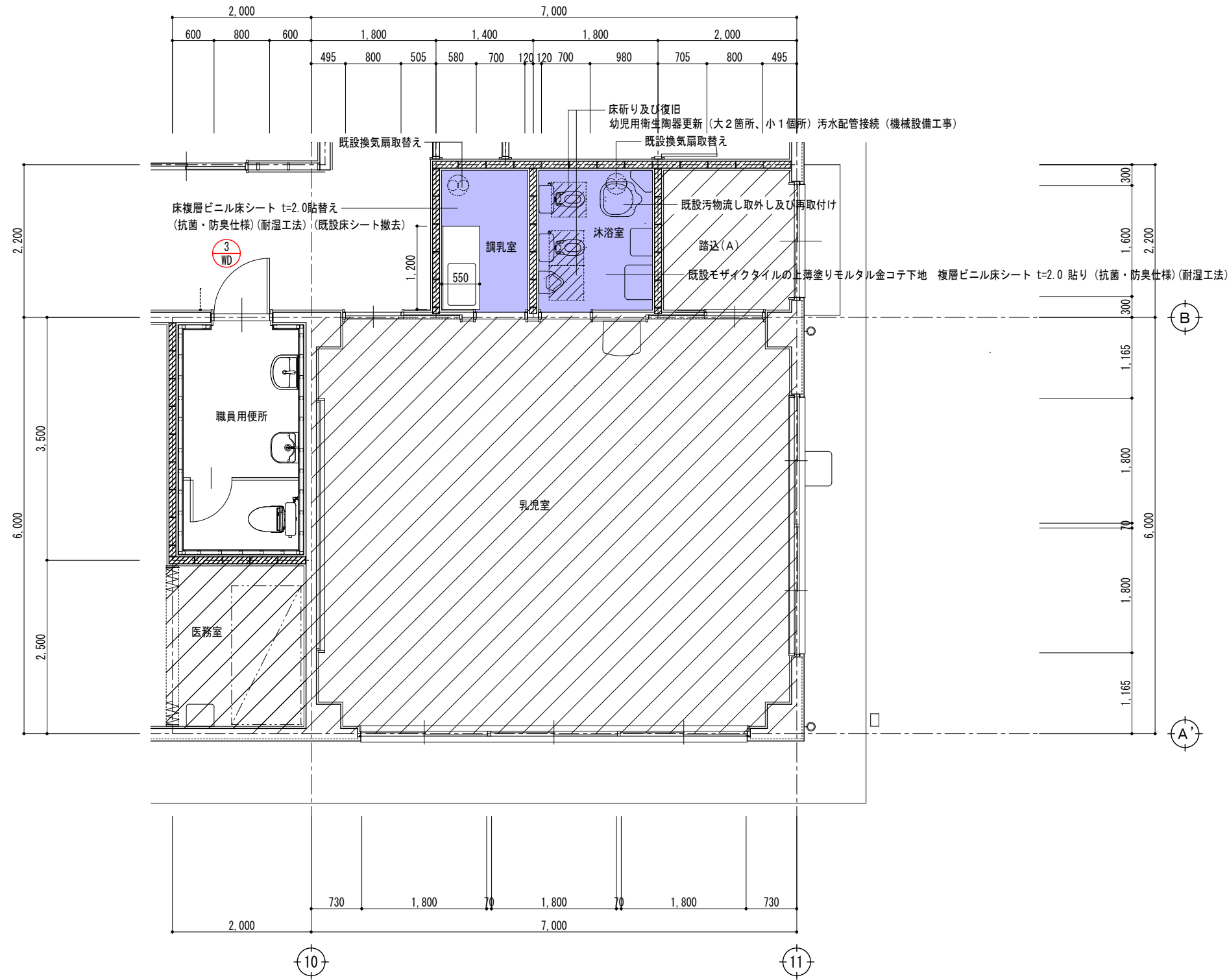


C 面



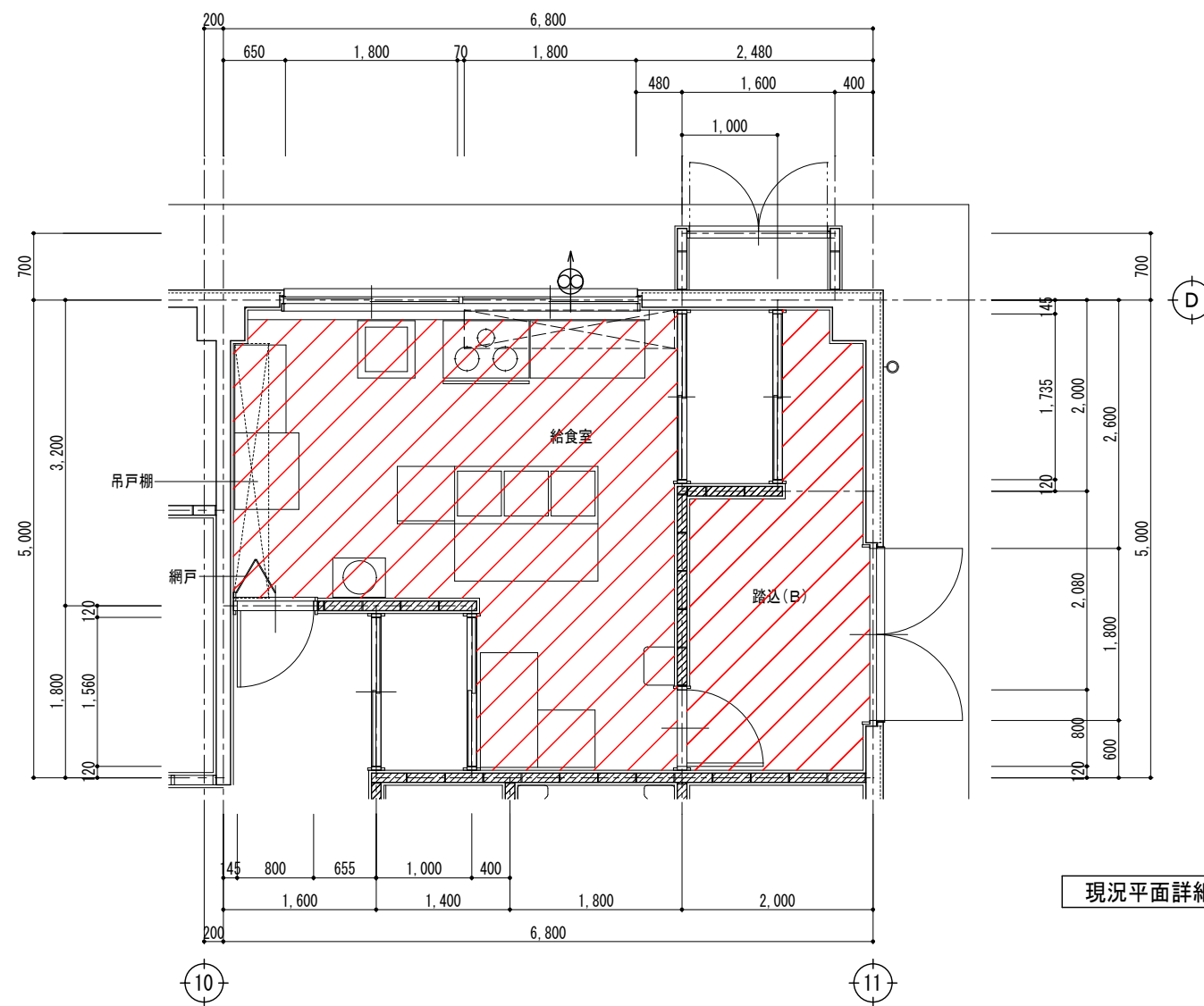
D 面

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	職員用便所	A2 : 1/40 A3 : 1/56 A2 : 1/40 A3 : 1/56	A — 19
			平面詳細図		
			展開図		

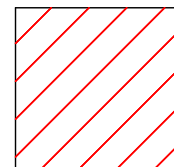


平面詳細図 1/50

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事			A — 20
				沐浴室 調乳室 平面詳細図	A2 : 1/50 A3 : 1/70	



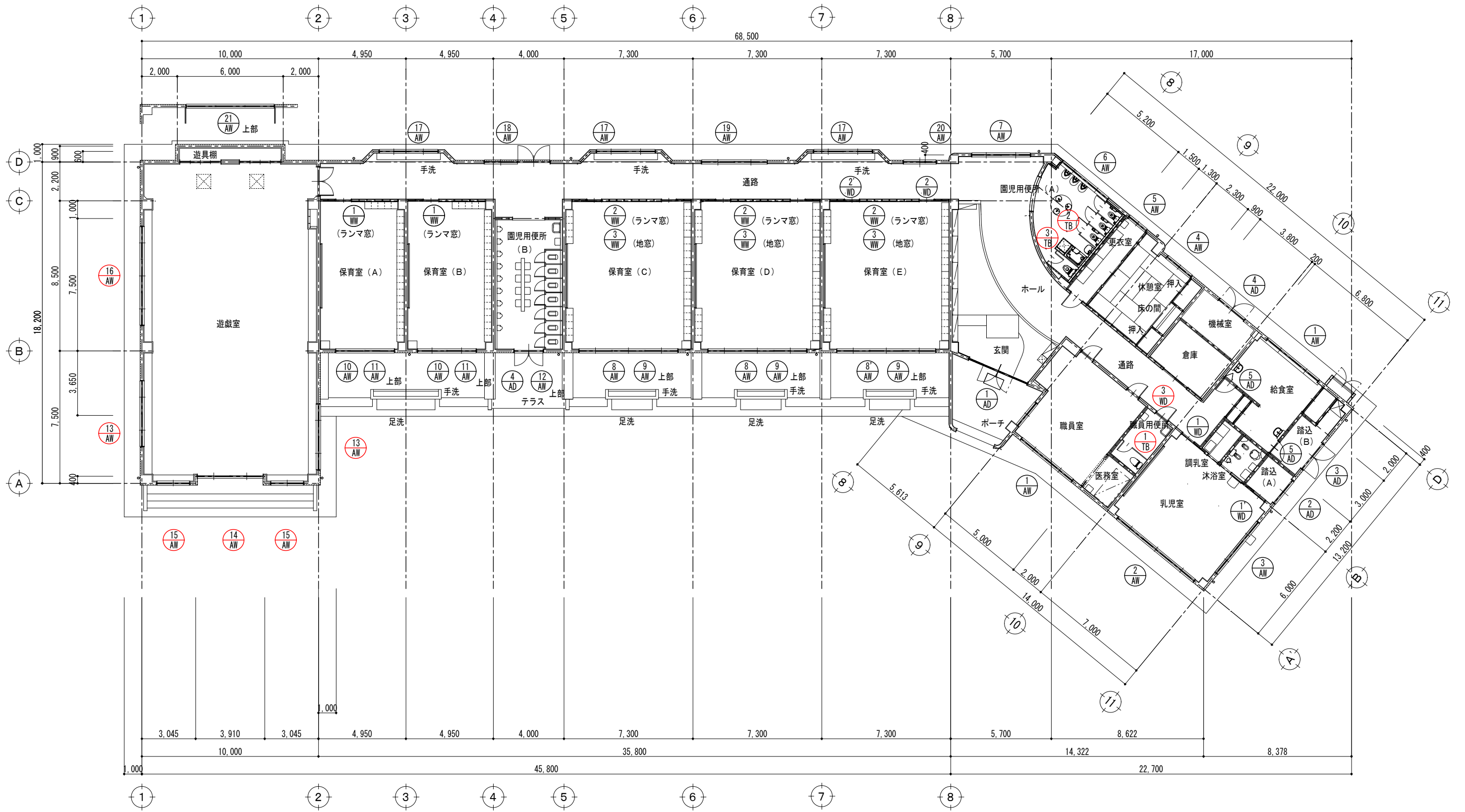
現況平面詳細図 1/50



※ 給食室 踏込(B) 床改修仕上表

床 既設モルタル金コテ下地 高圧ポンプ水洗い洗浄 (10~15MPa)
下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布
複層ビニル床シート (土足用) t=2.0 貼り (抗菌・防臭仕様) (耐湿工法)

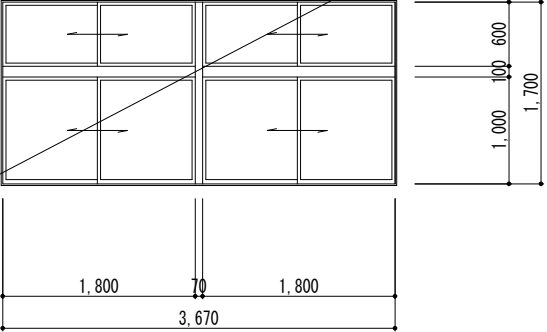
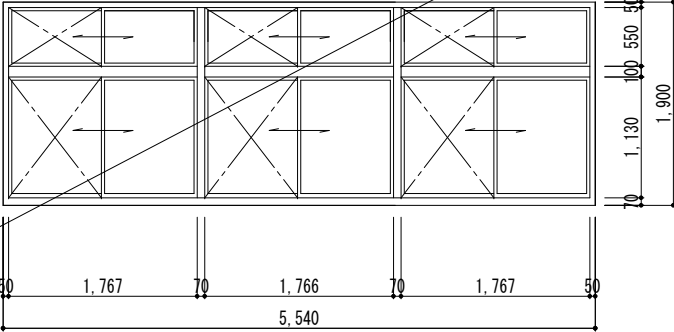
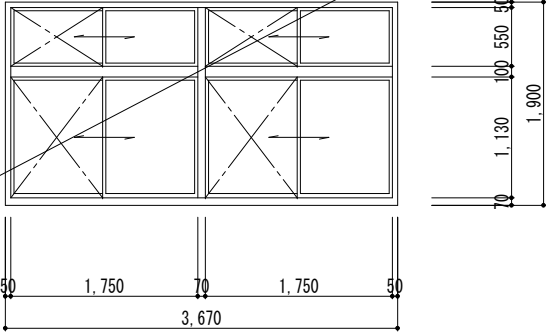
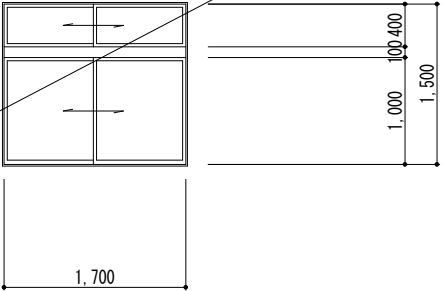
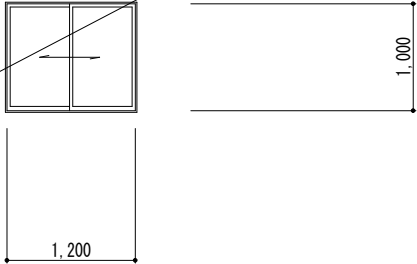
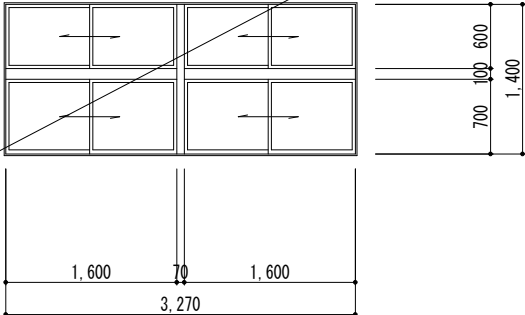
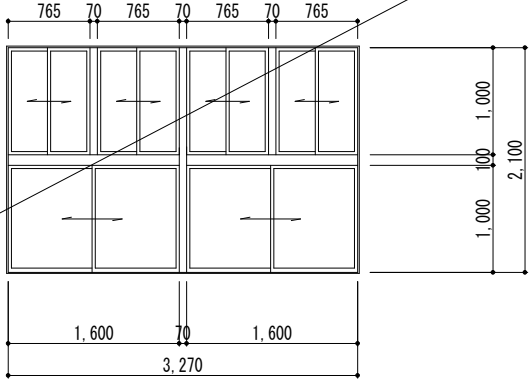
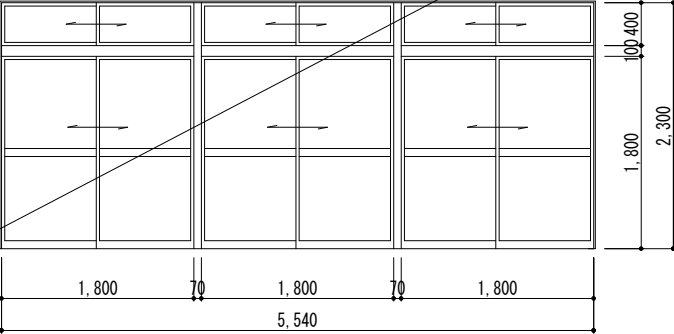
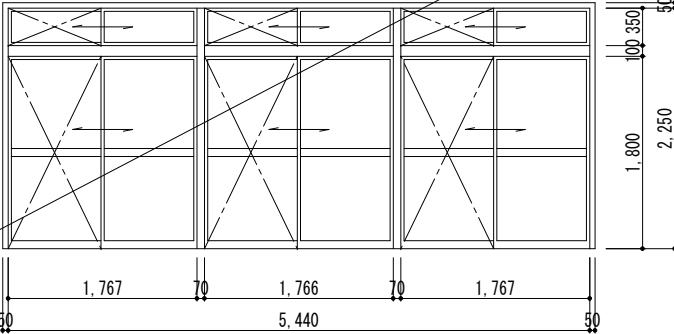
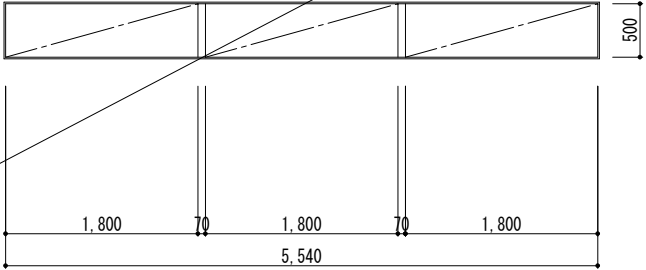
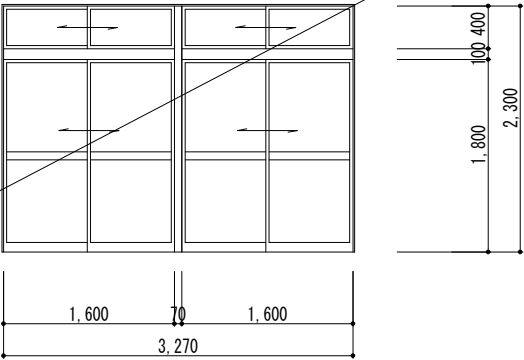
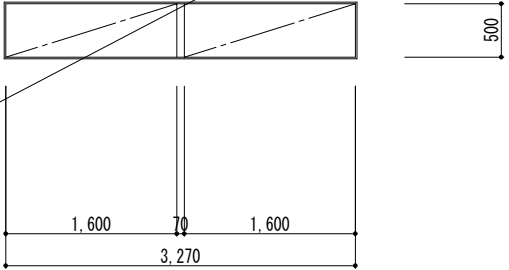
床改修に伴う既設厨房機器取外し移動及び改修後復旧



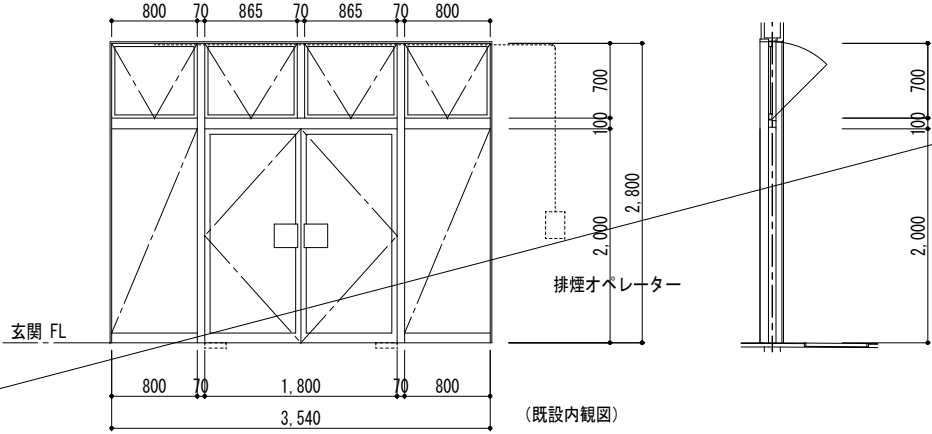
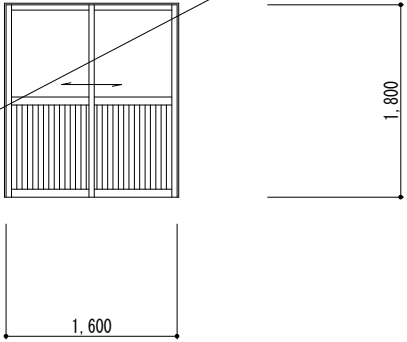
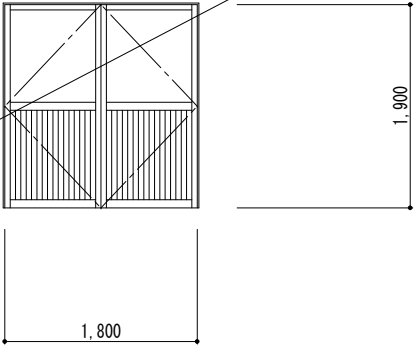
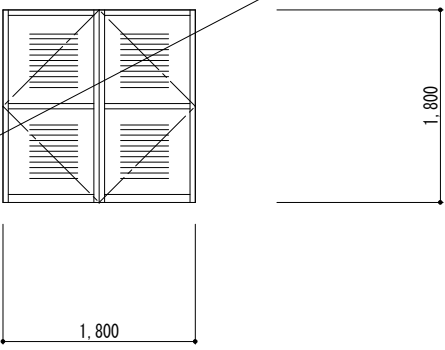
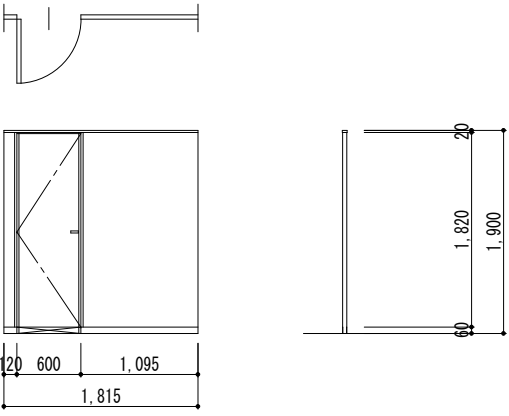
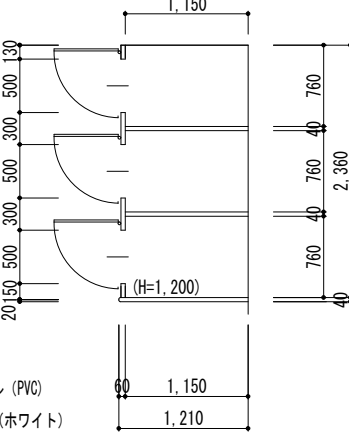
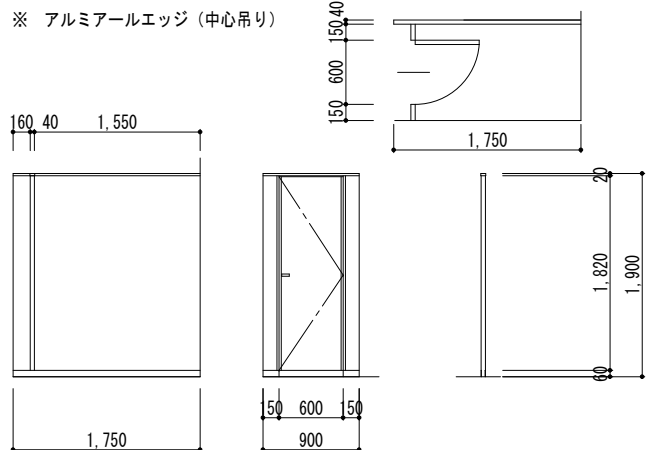
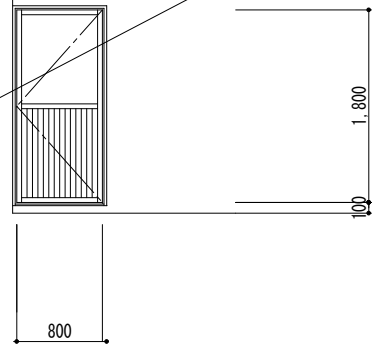
建具指示図 1/150

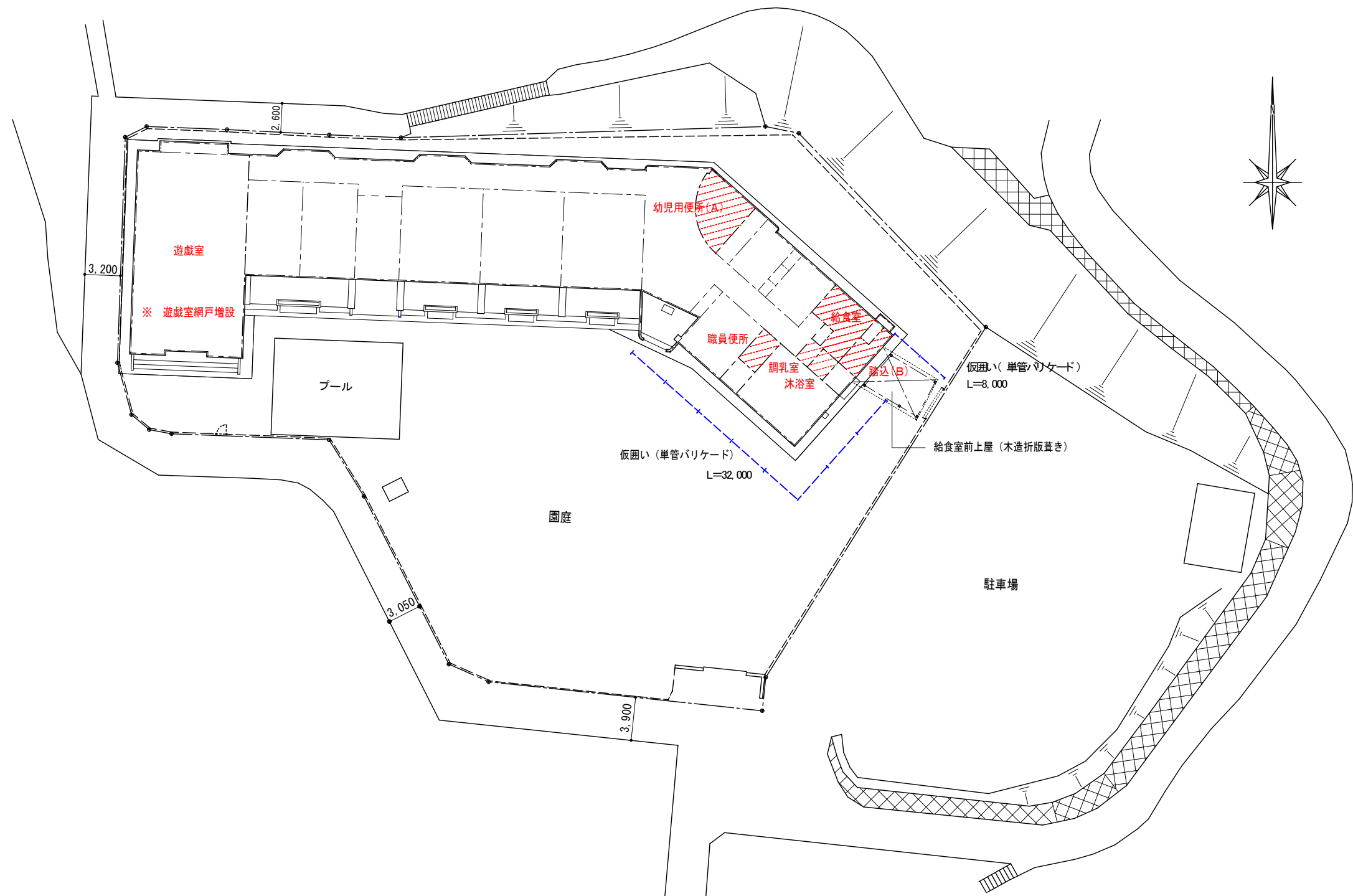
○ — 改修建具を示す

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	建具指示図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 22

記 号	① AW		② AW		③ AW	
場 所	職員室 給食室		乳児室		乳児室	
型 式	2連2段引違い窓		3連2段引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	3,670×1,700		5,540×1,900		3,670×1,900	
数 量	2		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考			網戸(サランネット)		網戸(サランネット)	
記 号	④ AW		⑤ AW		⑥ AW	
場 所	休憩室		更衣室		園児用便所 (A)	
型 式	引違い扉		引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	1,700×1,500		1,200×1,000		3,270×1,400	
数 量	1		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	⑦ AW		⑧ AW		⑧' AW	
場 所	ホール		保育室(C)(D)		保育室(E)	
型 式	2連2段ランマFIX窓付 引違い窓		3連2段引違い窓		3連2段引違い窓	
内 法	3,270×2,100		5,540×2,300		5,540×2,300	
数 量	1		AW-8 2		AW-8' 1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント 下枠ステンレスレール		クレセント 下枠ステンレスレール	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考			網戸(サランネット)		網戸(サランネット)	
記 号	⑨ AW		⑩ AW		⑪ AW	
場 所	保育室(C)(D)(E)		保育室(A)(B)		保育室(A)(B)	
型 式	3連FIX窓		2連2段引違い窓		2連FIX窓	
内 法	5,540×500		3,270×2,300		3,270×500	
数 量	3		2		3	
見 込	70		70		70	
付属金物			クレセント			
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						

記 号	12 AW		13 AW	※ 網戸増設（合成樹脂製網） 	14 AW	※ 網戸増設（合成樹脂製網）
場 所	幼児用便所（B）		遊戯室		遊戯室	
型 式	FIX窓		2連2段引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	1,600×500		3,670×1,700		3,670×1,700	
数 量	1		2		1	
見 込	70		70		70	
付属金物			クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	15 AW	※ 網戸増設（合成樹脂製網） 	16 AW	※ 網戸増設（合成樹脂製網） 	17 AW	
場 所	遊戯室		遊戯室		通路手洗前	
型 式	2連2段引違い窓		3連2段引違い窓		2連引違い窓	
内 法	3,670×1,700		5,540×1,700		3,270×1,000	
数 量	2		1		3	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	18 AW		19 AW		20 AW	
場 所	通路		通路		通路	
型 式	2連引違い窓付両開き扉		2連引違い窓		引違い窓	
内 法	3,670×1,000（1,800）		3,670×1,000		1,800×1,000	
数 量	1		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント 握り玉付シリンダー錠		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考	腰パネル					
記 号	21 AW		○		○	
場 所	遊戯室上部					
型 式	3連FIX窓					
内 法	4,940×800					
数 量	1					
見 込	70					
付属金物						
硝 子	フロート t=5					
材 質	アルミ					
塗 装						
備 考						

記 号	① AD			② AD		
場 所	玄関			② AD		
型 式	ランマ排煙窓、袖FIX付 両開き扉			② AD		
内 法	3,540×2,800			② AD		
数 量	1			② AD		
見 込	70			② AD		
付属金物	クレセント			② AD		
硝 子	フロート t=5			② AD		
材 質	アルミ			② AD		
塗 装				② AD		
備 考				② AD		
記 号	③ AD			④ AD		
場 所	踏込 (B)			④ AD		
型 式	引違い扉			④ AD		
内 法	1,800×1,900			④ AD		
数 量	1			④ AD		
見 込	70			④ AD		
付属金物	丁番 握り玉付シリンダー錠			④ AD		
硝 子	フロート t=5			④ AD		
材 質	アルミ			④ AD		
塗 装				④ AD		
備 考	腰パネル			④ AD		
記 号	① TB	※ アルミアルエッジ (中心吊り) 		② TB	※ 幼児用ブース 	
場 所	職員便所			② TB		
型 式	トイレブース			② TB		
内 法	1,815×1,900×1			② TB		
数 量	1			② TB		
見 込	40			② TB		
付属金物	壁面レール ステンレス頭つなぎ ステンレス巾木 戸当り 表示錠			② TB		
硝 子				② TB		
材 質	ポリエステル樹脂化粧板 (下地: MDF)			② TB		
塗 装				② TB		
備 考				② TB		
記 号	③ TB	※ アルミアルエッジ (中心吊り) 		⑤ AD		
場 所	園児用便所 (A)			⑤ AD		
型 式	トイレブース			⑤ AD		
内 法				⑤ AD		
数 量				⑤ AD		
見 込				⑤ AD		
付属金物	壁面レール ステンレス頭つなぎ ステンレス巾木 戸当り 表示錠			⑤ AD		
硝 子				⑤ AD		
材 質	ポリエステル樹脂化粧板 (下地: MDF)			⑤ AD		
塗 装				⑤ AD		
備 考				⑤ AD		



配置図 1/300



改修工事部分
※ 遊戯室網戸増設

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所		令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	仮設計画図 参考図	A2 : 1/300 A3 : 1/422	A — 27
				配 置 図		



令和3年度 安乗保育所改修工事（電気設備工事）

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 三重県志摩市阿児町安乗629-1

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	国:延面積	建:延面積	消法令の適用	備 考
保育園	RC造			別表第一(6)項 ハ	

国:国有財産法延面積 (㎡) 建:建築基準法延面積 (㎡)

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外		工 事 種 別			
工事種目		保育園 改設一式			屋外
○ 電灯設備					
・ 動力設備					
・ 電気自動車用充電設備					
・ 電熱設備					
・ 雷保護設備					
・ 受変電設備					
・ 電力貯蔵設備					
・ 発電設備					
・ 構内情報通信網設備					
・ 構内交換設備					
・ 情報表示設備					
・ 映像・音響設備					
・ 拡声設備					
・ 誘導支援設備					
・ テレビ共同受信設備					
・ 監視カメラ設備					
・ 駐車場管制設備					
・ 防火・入退室管理設備					
○ 火災報知設備		改設一式			
・ 中央監視制御設備					
・ 構内配電線路					
・ 構内通信線路					
・ テレビ電波障害防除設備					
・ 建築工事		別図による			
・ 機械設備工事		別図による			

4. 指定部分 ・ 無 ・ 有 対象部分

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び本書特記書面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁制定の下記特記書等のうち、○印付いたものとする。
- 公共建築工事標準特記書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「標準特記書」という。）
 - 公共建築改修工事標準特記書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「改修標準特記書」という。）
 - 公共建築設備工事標準特記書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「標準図」という。）
- 但し分電盤は一般仕様とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記特記書は適用する。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。
- 受災者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これにより必要な補償・落下防止等の保全処置を講じなければならない。上記事実が発生した場合は、契約書第26条(補償の措置)の規定による。

項 目	特 記 事 項
① 環境への配慮	<p>1) 本工事において、「国等」による環境物品等の調達への推進等に関する法律（平成12年法律第109号）に基づき、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年閣議決定）」（以下グリーン購入法基本方針）に定める特定調達品目（公共工事）の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。</p> <p>2) 建築物内部に使用する材料等も、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積材等、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、フセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジブチル、及びフタル酸ジメチルペンタヘキシル等）を含有しない揮発毒性の可塑性を散くが添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、装飾台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、フセトアルデヒド及びスチレンを含有しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 <p>3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」は次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4条の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3条の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
② 材料・機材の品質等	<p>1) 本工事に使用する機材等も、設計図書に定める品質及び性能の他、通常するべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 別表-1に機材名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。</p> <p>ただし、次の①から⑥すべての事項を評価されたとを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

●

1

一

般

事

項

③

足場その他

④

施工図等

⑤

電源周波数

⑥

耐震措置

⑦

他工事又は他工種との取合い

⑧

発生材の処理等について

⑨

特定建設資材の再資源化等

特記事項

・別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で使用する。

・本工事で設置する。

「専ら」先行工法に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「専ら」先行工法による足場の確立等に関する基準」における②の（2）専ら」設置方式又は③）専ら」先行専用設置方式により行う。改修標準仕様書第1編第2章2.2より足場の確立は以下による。

・内部足場 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・種 ）

・外部足場 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・種 ）

工事が完成（指定部分に係る完成を除く）したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原図及び複写図（1部）を監督職員に提出する。ただし、製作図等と原図として提出が可能なものは、原図に代わるものとしてよい。

なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に係る使用権は、発注者に移譲する。

機器製作図 一式、 制御システム図 一式

試験成績書 一式、 機器・配管固定の施工図 一式

○60Hz ・50Hz

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

1) 設計用水平地震力

機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		○一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
地下1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・水槽類には燃料小出槽を含む。

・重要機器は次のものを示す。

○配電盤 ・自家発電装置 ・直流電源装置

・交流無停電電源装置 ・交換装置 ・自動火災報知受信機

・中央監視制御装置 ・総合盤 ・放送架

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

図面に特記無き場合は、次表の「工事区分表」による。

「工事区分表」

他工事又は他工種との取合い	電気設備工事	機械設備工事	建築工事	土木工事
開床・壁・壁面通路	補強		○	
	スリッパ・仮枠			
口埋込分電盤・端子ボックス	補強	○		
	仮枠	○		
部経路管地下天井・壁・ボード間の切込	増設及び埋込（増設）		○	
	増設しない場合	○		
部床・床下プレート	切込	○		
	既設開口は切替の位置ボックス及びその取付	○		
基礎等	屋上設置の設備機器の基礎		○	
	大型設備機器の基礎		○	
	防水層に影響する基礎		○	
	上記以外の機器の基礎	○		
固定、アンカーボルト	○			
配線ビッド及び導管				○
自立型照明器具を取り付けるための切込・補強及び「天井・天井」				○
照明器具・幹線等の吊ボルト用のインサート		○		
別途機器などへの接続（直接接続するもの）		○		
機器付風制御装置以降の配管配線（接地地）			○	
機器付風制御装置への電源線等の配管配線（接地地）			○	
機器付風制御装置への制御線等の配管配線			○	
天井吊り（吊り）及び全数交換機換気扇と排気システムの配管配線			○	
燃焼器具から運動制御装置を経て防煙ダンパに至る配管配線			○	
小規模水装置の制御装置以降の配管配線			○	
自動扉及び電動シャッターなどの制御装置に至る配管配線	○			
防炎接合			○	
天井点検口			○	
エレベータ制御室までの動力・照明用電源、接地線、防火信号及び			○	
防火設備（内装改修）の配管配線工事			○	
エレベータ制御室からエレベータ監視室又は警報室までの配管配線工事				○
エレベータ保守連絡監視用（電話回線）配管工事			○	
エレベータ緊急地震速報受信用配管工事			○	
エレベータ制御室から外部インターホンまでの配管配線工事				○
エレベータ制御室からエレベータ内監視カメラまでの配管配線工事				○

引渡しを要するもの以外は、機材搬出適切なとする。

・引渡しを要するもの （ ・金庫類 ・電線、ケーブル類 ・壁鏡 ・PCB使用機器 ）

・特定管理産業廃棄物 （ ・一体化式感知器 ・蓄電池 ・ ）

・再生資源化を図るもの （ ・蛍光灯・LED ○白熱灯、HID灯 ・ ）

・石綿含有品 （ ・ ）

本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」（平成12年11月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工種の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等をした費用を書面に監督職員に提出する。（書式は「建設資材情報交換システム」で作成したものである）

①分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・新築	建設設備工事	
・増築	・有	・手作業
・修繕	・無	・手作業、機械作業併用
・機種替		

②特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地
・コンクリート		
・コンクリート及び鉄からなる建設資材		
・木材		
・7A7B、7C、7D、7E		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

項目		特記事項																																																																																																																																																			
● 1 一 般 事 項	10 建設発生土の処理	・ 構内敷きならし ・ 本工事は、建設発生土情報交換システム(以下「システム」という。)の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更が有った場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。																																																																																																																																																			
	11 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。 なお、測定はパンプ式採取機器により行う。 測定時期 測定対象室 測定箇所 ・ 工事着手前 ・ 図示 ・ 図示 ・ 施工終了時																																																																																																																																																			
	12 天井仕上区分	△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。																																																																																																																																																			
● 2 共 通 事 項	① 電気工事事	・最大電力 500 kW 以上の場合、第一種電気工事士により施工を行う。 ○最大電力 500 kW 未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。																																																																																																																																																			
	② 機器架設	架設の形状及び寸法は、概略を示す。																																																																																																																																																			
	3 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。																																																																																																																																																			
	④ フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次のとおりとする。 ・ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製																																																																																																																																																			
	⑤ 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管経路配線、配線太さ、配線本数、管径等は、監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。																																																																																																																																																			
	6 合成樹脂管配線	合成樹脂製とか電線管(パイプ)及び付属品は、タイプ-25 のものを使用する。 なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。 ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。																																																																																																																																																			
	7 薄鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形の仕上り電線管を使用しても良い。																																																																																																																																																			
	8 厚鋼電線管	厚鋼電線管は、図面に特記なき場合は溶融亜鉛メッキ(Z30)仕上げとする。																																																																																																																																																			
	⑨ 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線及び合成樹脂管配線の項による。																																																																																																																																																			
	10 最上階の埋め込み配管	最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。																																																																																																																																																			
	11 地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とし、横断シート(2倍長以上重合せ)幅150mmを設ける。 なお、埋設幅0.6m以上の箇所は、横断シートを2列以上並列に設ける。																																																																																																																																																			
	12 ハンドホールの蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、線型流し込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名 (・ 電力 ・) 構内通信線路の用途名 (・ 通信 ・) 共用する場合の用途名 (・ 電気 ・)																																																																																																																																																			
	13 電力・電話の引き込み	電力及び電圧引き込み線の引込方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金等の調査報告を監督職員に速やかに行う。																																																																																																																																																			
	⑭ 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、次の「機器標準取付高さ」による。 <table><tr><th colspan="3">「機器標準取付高さ」</th><th colspan="3">「機器標準取付高さ」</th></tr><tr><th>名 称</th><th>測 点</th><th>取付高さ[m]</th><th>名 称</th><th>測 点</th><th>取付高さ[m]</th></tr><tr><td rowspan="10">電力・通信・照明</td><td>総算計器</td><td>地上 ～ 1,800～2,000</td><td>受電表示盤</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>天井高×0.9</td></tr><tr><td>引込閉鎖器</td><td>地上 ～ 中心 800～2,200</td><td>受付変換機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>分電盤</td><td>床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)</td><td>ケーブル桥架(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,300</td></tr><tr><td>スイッチ</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td>漏付押切(一般)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>スイッチ(多目的)</td><td>床 上 ～ 中心 1,100</td><td>外部受付用(付付)</td><td>標準図による</td><td></td></tr><tr><td>スイッチ(自動降)</td><td>床 上 ～ 中心 1,800</td><td>漏付(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>900</td></tr><tr><td>コ(一般)</td><td>床 上 ～ 中心 300</td><td>呼出(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>コ(和室)</td><td>床 上 ～ 中心 150</td><td>呼出(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,900～1,800</td></tr><tr><td>セ(倉上)</td><td>台 上 ～ 中心 150～200</td><td>機器収納箱</td><td>天井下・上端</td><td>200</td></tr><tr><td>セ(間)</td><td>床 上 ～ 中心 500</td><td>減圧器(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>300</td></tr><tr><td rowspan="10">電 灯</td><td>外(壁・屋外)</td><td>地 上 ～ 中心 800</td><td>減圧器(付付)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>150</td></tr><tr><td>外(一般)</td><td>床 上 ～ 中心 2,100～2,300</td><td>受電機・変換機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>800～1,500</td></tr><tr><td>外(設備)</td><td>床 上 ～ 中心 2,000～2,500</td><td>機器収納箱・変換機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,300</td></tr><tr><td>外(上層)</td><td>地上・上端 中心 150</td><td>表示灯</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>力</td><td>壁掛形制御盤</td><td>床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)</td><td>火災警報機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>300</td></tr><tr><td>力</td><td>手元閉鎖器</td><td>床 上 ～ 中心 1,500</td><td>表示灯</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>力</td><td>制御スイッチ</td><td>床 上 ～ 中心 2,300</td><td>ガス検知機(LPG)</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>300</td></tr><tr><td>構内・外</td><td>室内用吊り金具</td><td>天井下 ～ 下端 300</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>構内・外</td><td>室内用吊り金具</td><td>天井下 ～ 中心 200</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>構内・外</td><td>壁掛け電機</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">時 計</td><td>時 鐘</td><td>壁掛形形時計</td><td>床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>時 計</td><td>手掛時計</td><td>床 上 ～ 中心 天井高×0.9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低 圧</td><td>壁掛形スイッチ</td><td>床 上 ～ 中心 天井高×0.9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低 圧</td><td>壁付アンテナ</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 注1) 天井高 1000mm 以上の場合及び上記取付高さにおいて、機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議すること。 注2) 2階に設置する分館(正副支店、支店・付付)以上上級支店)の取付位置は、監督職員と協議すること。 注3) 表記は原則とし、施工時に監督職員の承認を受ける。		「機器標準取付高さ」			「機器標準取付高さ」			名 称	測 点	取付高さ[m]	名 称	測 点	取付高さ[m]	電力・通信・照明	総算計器	地上 ～ 1,800～2,000	受電表示盤	床 上 ～ 中心	天井高×0.9	引込閉鎖器	地上 ～ 中心 800～2,200	受付変換機	床 上 ～ 中心	1,300	分電盤	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)	ケーブル桥架(付付)	床 上 ～ 中心	2,300	スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300	漏付押切(一般)	床 上 ～ 中心	1,300	スイッチ(多目的)	床 上 ～ 中心 1,100	外部受付用(付付)	標準図による		スイッチ(自動降)	床 上 ～ 中心 1,800	漏付(付付)	床 上 ～ 中心	900	コ(一般)	床 上 ～ 中心 300	呼出(付付)	床 上 ～ 中心	1,500	コ(和室)	床 上 ～ 中心 150	呼出(付付)	床 上 ～ 中心	1,900～1,800	セ(倉上)	台 上 ～ 中心 150～200	機器収納箱	天井下・上端	200	セ(間)	床 上 ～ 中心 500	減圧器(付付)	床 上 ～ 中心	300	電 灯	外(壁・屋外)	地 上 ～ 中心 800	減圧器(付付)	床 上 ～ 中心	150	外(一般)	床 上 ～ 中心 2,100～2,300	受電機・変換機	床 上 ～ 中心	800～1,500	外(設備)	床 上 ～ 中心 2,000～2,500	機器収納箱・変換機	床 上 ～ 中心	2,300	外(上層)	地上・上端 中心 150	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100	力	壁掛形制御盤	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)	火災警報機	床 上 ～ 中心	300	力	手元閉鎖器	床 上 ～ 中心 1,500	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100	力	制御スイッチ	床 上 ～ 中心 2,300	ガス検知機(LPG)	床 上 ～ 中心	300	構内・外	室内用吊り金具	天井下 ～ 下端 300				構内・外	室内用吊り金具	天井下 ～ 中心 200				構内・外	壁掛け電機	床 上 ～ 中心 1,300				時 計	時 鐘	壁掛形形時計	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)			時 計	手掛時計	床 上 ～ 中心 天井高×0.9			低 圧	壁掛形スイッチ	床 上 ～ 中心 天井高×0.9			低 圧	壁付アンテナ	床 上 ～ 中心 1,300							
「機器標準取付高さ」			「機器標準取付高さ」																																																																																																																																																		
名 称	測 点	取付高さ[m]	名 称	測 点	取付高さ[m]																																																																																																																																																
電力・通信・照明	総算計器	地上 ～ 1,800～2,000	受電表示盤	床 上 ～ 中心	天井高×0.9																																																																																																																																																
	引込閉鎖器	地上 ～ 中心 800～2,200	受付変換機	床 上 ～ 中心	1,300																																																																																																																																																
	分電盤	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)	ケーブル桥架(付付)	床 上 ～ 中心	2,300																																																																																																																																																
	スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300	漏付押切(一般)	床 上 ～ 中心	1,300																																																																																																																																																
	スイッチ(多目的)	床 上 ～ 中心 1,100	外部受付用(付付)	標準図による																																																																																																																																																	
	スイッチ(自動降)	床 上 ～ 中心 1,800	漏付(付付)	床 上 ～ 中心	900																																																																																																																																																
	コ(一般)	床 上 ～ 中心 300	呼出(付付)	床 上 ～ 中心	1,500																																																																																																																																																
	コ(和室)	床 上 ～ 中心 150	呼出(付付)	床 上 ～ 中心	1,900～1,800																																																																																																																																																
	セ(倉上)	台 上 ～ 中心 150～200	機器収納箱	天井下・上端	200																																																																																																																																																
	セ(間)	床 上 ～ 中心 500	減圧器(付付)	床 上 ～ 中心	300																																																																																																																																																
電 灯	外(壁・屋外)	地 上 ～ 中心 800	減圧器(付付)	床 上 ～ 中心	150																																																																																																																																																
	外(一般)	床 上 ～ 中心 2,100～2,300	受電機・変換機	床 上 ～ 中心	800～1,500																																																																																																																																																
	外(設備)	床 上 ～ 中心 2,000～2,500	機器収納箱・変換機	床 上 ～ 中心	2,300																																																																																																																																																
	外(上層)	地上・上端 中心 150	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100																																																																																																																																																
	力	壁掛形制御盤	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)	火災警報機	床 上 ～ 中心	300																																																																																																																																															
	力	手元閉鎖器	床 上 ～ 中心 1,500	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100																																																																																																																																															
	力	制御スイッチ	床 上 ～ 中心 2,300	ガス検知機(LPG)	床 上 ～ 中心	300																																																																																																																																															
	構内・外	室内用吊り金具	天井下 ～ 下端 300																																																																																																																																																		
	構内・外	室内用吊り金具	天井下 ～ 中心 200																																																																																																																																																		
	構内・外	壁掛け電機	床 上 ～ 中心 1,300																																																																																																																																																		
時 計	時 鐘	壁掛形形時計	床 上 ～ 中心 1,500 (上層:900以下)																																																																																																																																																		
	時 計	手掛時計	床 上 ～ 中心 天井高×0.9																																																																																																																																																		
	低 圧	壁掛形スイッチ	床 上 ～ 中心 天井高×0.9																																																																																																																																																		
	低 圧	壁付アンテナ	床 上 ～ 中心 1,300																																																																																																																																																		
15 接地極	図面に特記無き接地極は、次の「接地極一覧表」による。 <table><tr><th colspan="3">「接地極一覧表」</th><th colspan="2">接地極の規格・数量</th></tr><tr><th>接 地 の 種 類</th><th>記 号</th><th>接 地 抵 抗 値</th><th>接地極の規格</th><th>数量</th></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>EA-D</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>EA-C-D</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ A種</td><td>EA</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>EB</td><td>Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ C種</td><td>EC</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ D種</td><td>ED</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900</td><td>×1</td></tr><tr><td>・ 漏電遮断器用</td><td>ED,CB</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900</td><td>×1</td></tr><tr><td>・ 高圧避雷器</td><td>ELH</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ 交換装置用</td><td>EL</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>EAt</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200</td><td>×3 並 - 2並</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>EDt</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900</td><td>×1</td></tr><tr><td>・ 電話引込口の保安専用</td><td>EDt</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900</td><td>×1</td></tr><tr><td>・ 測定用</td><td>EO</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900</td><td>×1</td></tr><tr><td>・ 構造体接地</td><td></td><td>Ω 以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 等電位接地</td><td></td><td>Ω 以下</td><td></td><td></td></tr></table>		「接地極一覧表」			接地極の規格・数量		接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	接地極の規格	数量	・ 共同接地	EA-D	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ 共同接地	EA-C-D	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ A種	EA	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ B種	EB	Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ C種	EC	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ D種	ED	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1	・ 漏電遮断器用	ED,CB	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1	・ 高圧避雷器	ELH	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ 交換装置用	EL	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ 通信用	EAt	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並	・ 通信用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1	・ 電話引込口の保安専用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1	・ 測定用	EO	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1	・ 構造体接地		Ω 以下			・ 等電位接地		Ω 以下																																																																
「接地極一覧表」			接地極の規格・数量																																																																																																																																																		
接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗 値	接地極の規格	数量																																																																																																																																																	
・ 共同接地	EA-D	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ 共同接地	EA-C-D	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ A種	EA	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ B種	EB	Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ C種	EC	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ D種	ED	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1																																																																																																																																																	
・ 漏電遮断器用	ED,CB	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1																																																																																																																																																	
・ 高圧避雷器	ELH	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ 交換装置用	EL	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ 通信用	EAt	10 Ω 以下	EB-D=14, L=1500 又は W=40, L=1200	×3 並 - 2並																																																																																																																																																	
・ 通信用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1																																																																																																																																																	
・ 電話引込口の保安専用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1																																																																																																																																																	
・ 測定用	EO	100 Ω 以下	EB-D=10, L=1000 又は W=30, L=900	×1																																																																																																																																																	
・ 構造体接地		Ω 以下																																																																																																																																																			
・ 等電位接地		Ω 以下																																																																																																																																																			
● 3 電力 受 電 配 電	1 照明制御 総合動作試験	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督職員に試験成績書を提出し、承諾をうける。 ・ 目標照度設定のための各調光センサー(夜間及び日中) ・ 不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー ・ タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認 ・ 外光センサーによる点滅及び照明制御のための動作確認 注)上記試験項目は全数確認とする。																																																																																																																																																			

[illegible]

【特記事項】

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

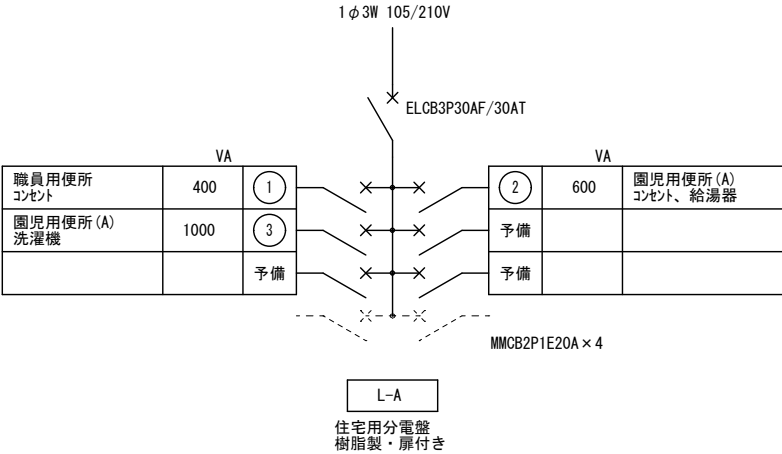
一級建築士 No. 117422 西沢雅彦





令和3年度 安乗保育所改修工事

特記仕様書(電気・改修)

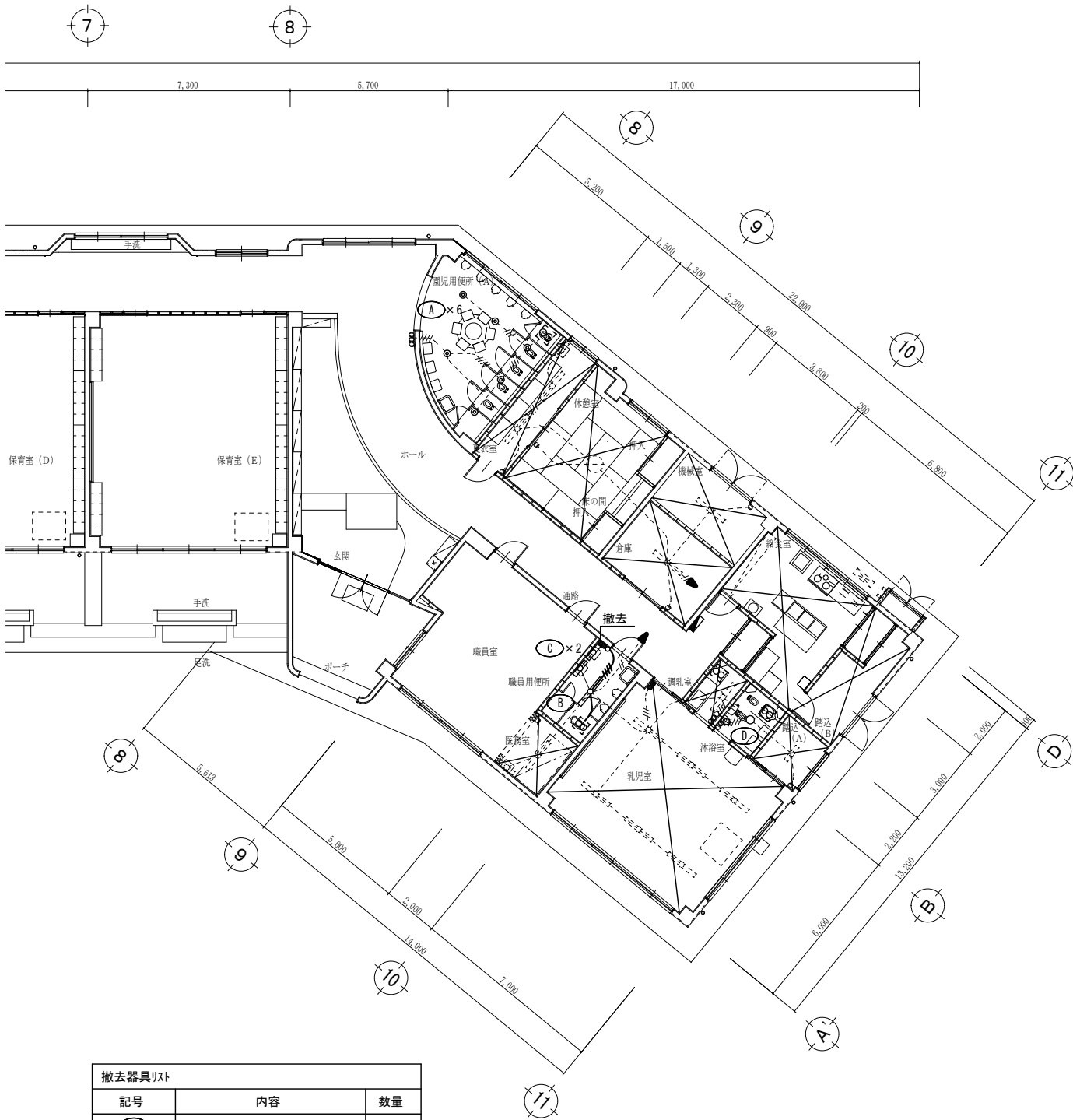
A2 : N · S A3 : N · S

E — 01



			
Ⓐ	LED 1650lm 消費電力11.6W LRS1-13 リニューアルプレート200φ用共	Ⓑ	LED 3200lm 消費電力20.6W LSS10-4-30
	昼白色 (5000K)・Ra83 拡散タイプ・天井直付型・壁直付型 カバー:プラスチック (乳白) 両面化粧タイプ LGB85042 LE1		昼白色 (5000K)・Ra83 拡散タイプ・ネジ込み方式 プラスチック (ホワイト) カバー:アクリル (乳白) LGW51704W CF1
Ⓒ	LED 840lm 消費電力9.5W	Ⓓ	LED 965lm 消費電力10.7W 防湿型・防雨型

型番は参考とする

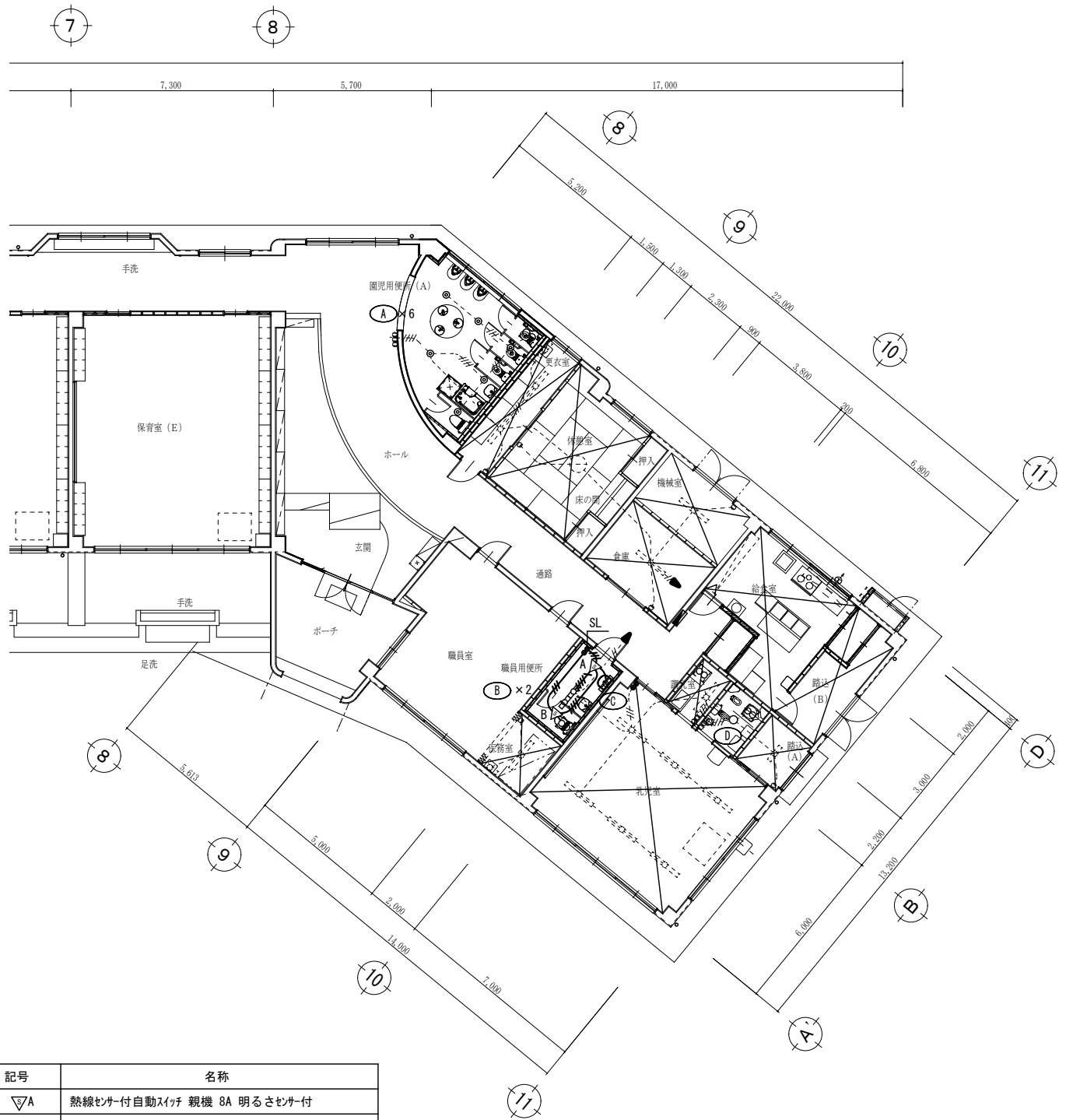


撤去器具リスト		
記号	内容	数量
Ⓐ	IL60W ×1 ダウンライト	6
Ⓑ	FL40W ×1 直付	1
Ⓒ	FL15W ×1 プラケット	2
Ⓓ	IL60W ×1 シーリングライト防水	1
●●	タンブラースイッチIP15A ×2+PL	1

図中記入なき配線は下記とする	
——	1.6 × 2 (19)
——	1.6 × 4 (25)

平面図 1/150

【改修前】



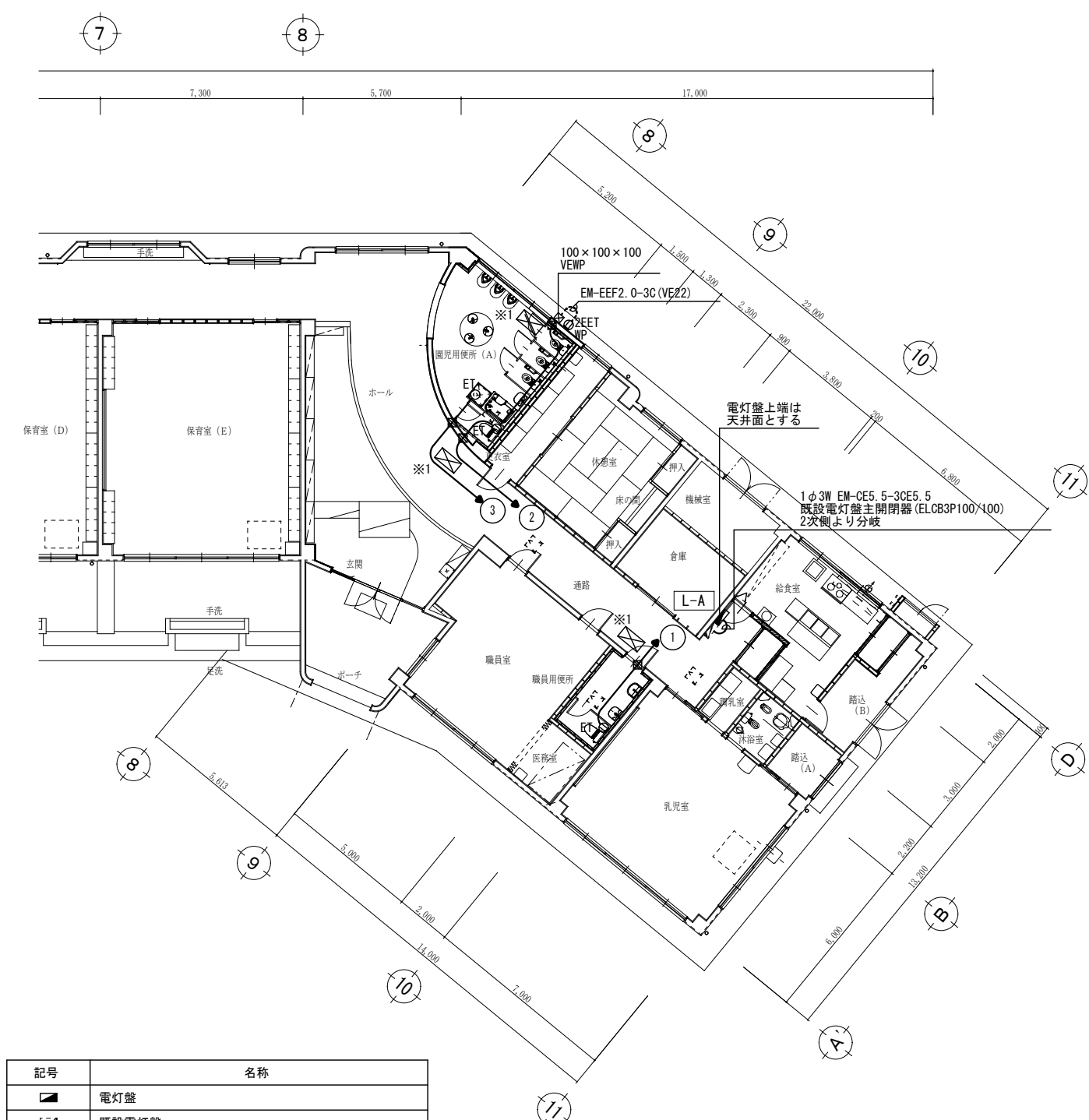
記号	名称
▽A	熱線センサー付自動スイッチ 親機 8A 明るさセンサー付
▽B	熱線センサー付自動スイッチ 子機 換気扇連動用
●●SL	熱線センサー付自動スイッチ用操作スイッチ 2回路

点線にて記入のものは既設を示し再使用とする

図中記入なき配線は下記とする	
——	EM-EEF1.6-3C 内1Cは接地線
——	EM-EEF1.6-3C
——	EM-EEF1.6-2C+1.6-3C
傾きの異なる物は接地線を示す	

平面図 1/150

【改修図】



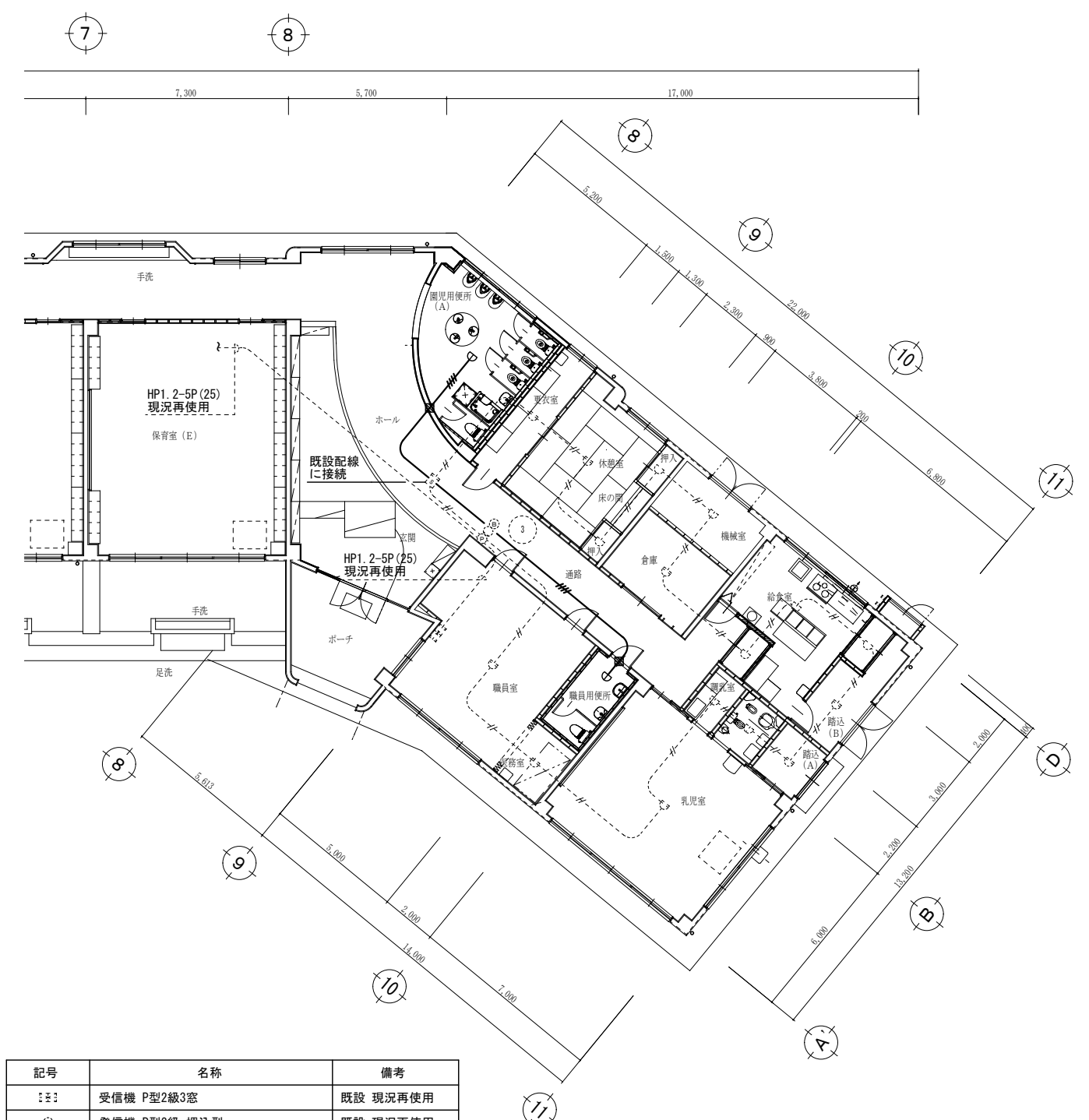
記号	名称
	電灯盤
	既設電灯盤
	埋込コンセント 2P15A×1 接地端子付
	埋込コンセント 抜止め2P15A×1 接地端子付
	防水コンセント 2P15A×2 接地極・接地端子付
	ガラスドア
	貫通補修を示し、防火区画貫通処理を行う
	既設天井点検口
	既設天井ボート (ビス止め) 取外し再取付

点線にて記入のものは既設を示し再使用とする

図中記入なき配線は下記とする
EM-EEF2.0-3C 内ICは接地線

平面図 1/150

【改修図】



記号	名称	備考
	受信機 P型2級3窓	既設 現況再使用
	発信機 P型2級 埋込型	既設 現況再使用
	表示灯	既設 現況再使用
	電鈴 150φ	既設 現況再使用
	感知器 差動式ｽﾍﾞｯﾄ型 2種	既設 現況再使用
	感知器 定温式ｽﾍﾞｯﾄ型 特種	既設 現況再使用
	感知器 定温式ｽﾍﾞｯﾄ型 1種 防水型	既設 現況再使用
	感知器 煙 2種	既設 現況再使用
	感知器 定温式ｽﾍﾞｯﾄ型 1種 防水型	新設
	貫通補修を示し、防火区画貫通処理を行う	

点線にて記入のものは既設を示し再使用とする

図中記入なき配線は下記とする
EM-AE1.2-4C

平面図 1/150

【改修図】

[illegible]

章		項 目	特 記 事 項	別表－１	機 材 等 名
●衛生器具設備	①小便便器	3.掃 除 流 し 4.和風便器耐火カバー	洗浄水量は４Ｌ/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・カウンター取付け形 ・耐寒水栓（吊コマ） 排水口は（ ・ 目皿 ・ 鎖付きゴム栓）とする。 和風便器の防火区画貫通処理は標準図による。		
	②水栓		・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 ③		
●給水設備	①配管材料	②引き込み納付金 3.量 水 器 4.量水器樹 5.水 栓 柱 ③管の地中埋設深さ 7.凍結深度	(1)一般配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 塩ビライニング鋼管（ ・ ＶＡ又はＶＢ ・ ） ・ ポリ粉体鋼管（ ・ ＰＡ又はＰＢ ・ ） ③ 水道用硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はＰＤ又はＶＤとする。 (2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（ ・ 建物内 ・ 屋外部分） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ ポリエチレン管 ③ 水道用硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ③ 不要 観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ パルス式 ）（ ・ 貸与品 ・ ） 観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ パルス式 ）（ ・ 貸与品 ・ ） ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図ＭＣ形 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ③埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ 600mm ・ mm）以上 その他の部分では管の上端より（③ 300mm ・ mm）以上 屋外配管の凍結深度は mm		
	①配管材料		(1)屋内 汚水管 (及び屋外第一樹まで) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ ・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ③ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ③ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ コーティング鋼管 雑排水管・通気管 ポンプアップ排水管 (2)屋外 樹間 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ ＶＰ ・ ＶＵ ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） リサイクルビニル管の適用範囲（ＲＦ－ＶＰ）：屋内の無圧の排水配管用 （ＲＥＰ－ＶＵ）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 （ＲＳ－ＶＵ）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 2.洗面器等の排水管 (1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより１サイズアップとする。 (2)給湯室台所流し等の床部分の配管は、ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）でもよい。 (3)大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）とする。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ③ 不要 図示の位置に取り付ける。		
	①配管材料		給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管 ③ 保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 標準仕様書第２編３．１．５によるほか、下記による。 ・ 湯沸器の給排気筒（二重管）の暖べい箇所は表２．３．５のｈ・（イ）・Ⅹの保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。		
	②保 温				
	③そ の 他				
	○消火設備		1.配管材料 (1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ (2)連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Ｓｃｈ４０） 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） (3)連結散水用 ・ 易操作性１号消火栓 ・ 広範囲型２号消火栓 ・ １号消火栓 ・ ２号消火栓 箱内に別途機器（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・ １０Ｋ ・ 外面被覆鋼管の呼び径１００以下はねじ接合とする。 5.保 温 屋外露出部分 ・ 有（標準仕様書第２編３．１．５の給水管の項による。） ・ 無 6.消火栓ホース ・ 屋外消火栓（ホース） ・ 屋内消火栓（ホース）		
	○厨房設備		1.機器の寸法 2.機器の機能等 概略寸法とする。 図示による。		
●ガス設備	①配管材料	2.ガス充てん容器 3.ガスメーター 4.ガス漏れ警報器 ③気密試験	・ 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ③ 液化石油ガス 一般配管 ③ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設配管 ③ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 借用 ・ 本工事 観メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 観メーターの形式（ ・ 直読 ・ パルス式） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ パルス式） ・ 本工事（図示による） 外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 別途工事 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 液化石油ガス 保持時間は、２４分以上とし記録計による測定表を提出する。		
	○槽浄化設備		1.形 式 2.測 定 表 ・ ユニット形 ・ 現場施工形 定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。		

凡 例			
記 号	名 称	記 号	名 称
—— — — — —	給水管	ㄥ	給水栓
—————	汚水・排水管	ㄥ	混合水栓
-----	通気管	ㄥ ㄥ	弁類 J I S 1 0 k g / c m ²
—— I ——	給湯管	㊦	床上掃除口
—— G ——	ガス管	㊦	排水金物
—— R ——	冷媒管	□	空調室内機
—— D ——	ドレン管	□	空調室外機
—————	今回施工を示す	●	空調リモコンスイッチ
- - - - -	既設を示す		

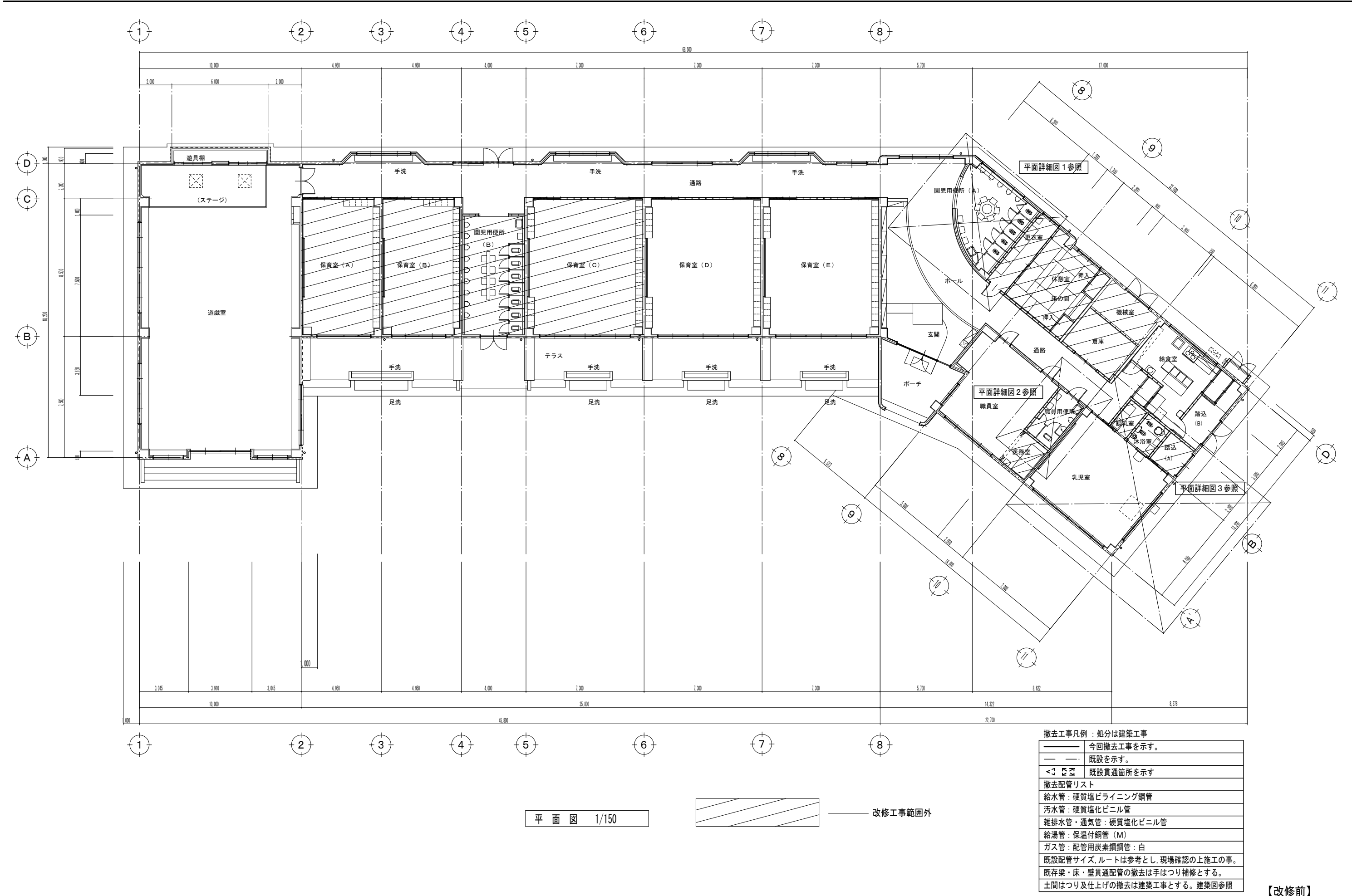
衛 生 機 器 表

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源	台 数
			φ-V	
GW-1	ガス給湯器（屋外壁掛形10号）	付属品：メインリモコン、リモコンコード、配管カバーL=500程度、他付属品共	1φ100V	1
		ガス消費量：21.1kw：LPGガス仕様	26W	

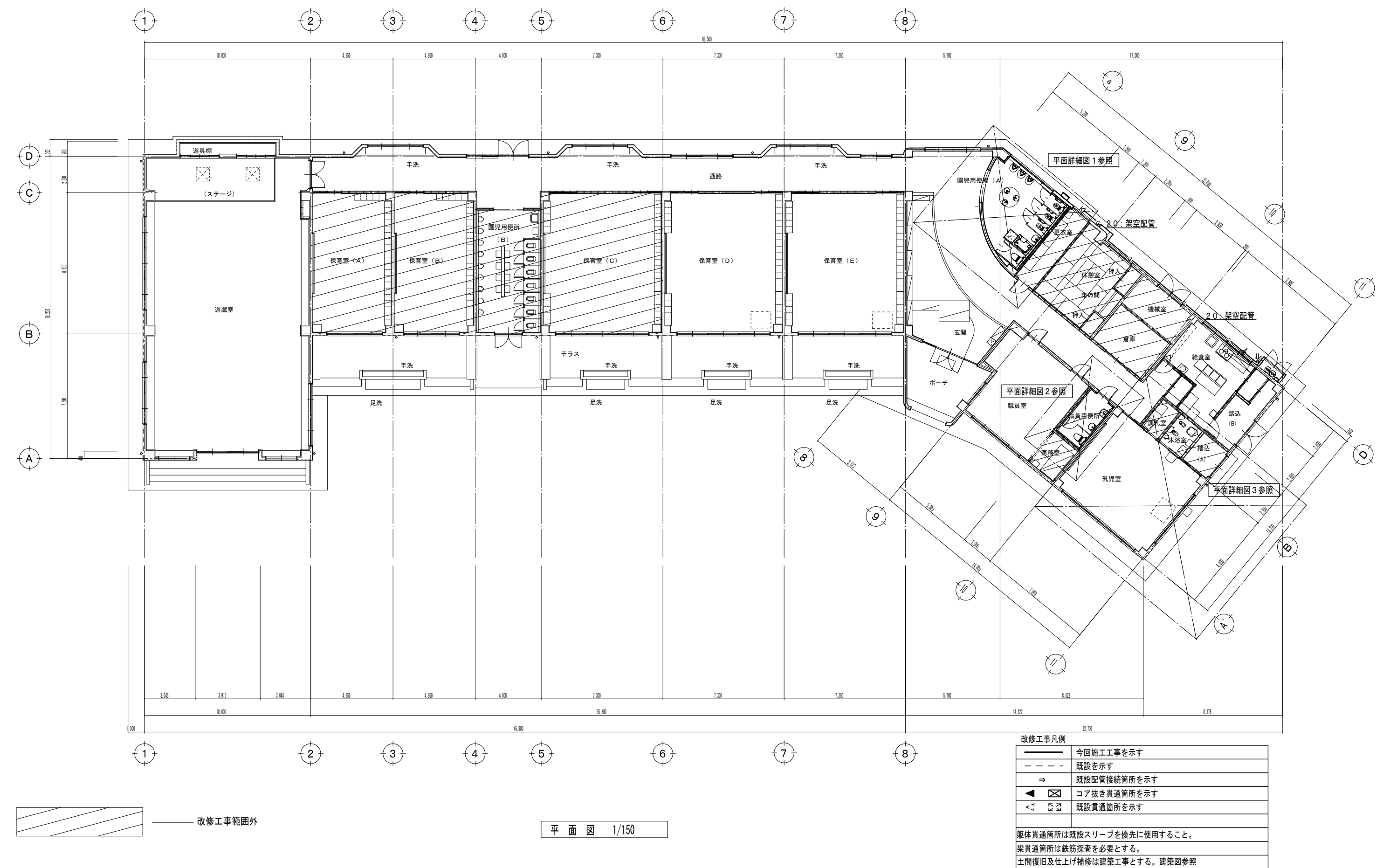
注）能力は参考数値とする。

衛 生 器 具 表

名 称	TOTO品番	LIXIL品番	合計	幼児用便所A	職員便所	沐浴室	給食室	廊下手洗い
洋風便器	CS597BMS,SH596BAYR,TCF5534AU（温水器付洗浄便座）,HP4307,YH702（二連紙巻器）	BC-P110H,DQ-PA150CH,CW-PA11FLQE-NE（温水器付洗浄便座）,CF-020SET,322-1165-530,A-10476,CF-200S,CF-63HST（二連紙巻器）	2	1	1			
幼児用大便器（1・2歳）	CS310B,S300BK,TS310SGR,TC31R（普通便座）,T82C38,HP4307,YH51R（紙巻器）	C-P141S,DT520XECH32,CF-7CK（普通便座）,CF-121L-32,CF-103BB,CF-AA23D（紙巻器）	2			2		
幼児用大便器（3～5歳）	CS300B,S300BK,TS300SGR,TC30（普通便座）,T82C38,YH51R（紙巻器）	C-P143S,DT-520XECH38,CF-43CK（普通便座）,CF-8AWP,CF-8AWP,CF-103BC,CF-AA23D（紙巻器）	3	3				
I型手すり	YYB10,付属固定金具共	KF-910AE50J,付属固定金具共	3	3				
幼児用小便器	U310,T601P,T64CP,T9R,HH04060	U-401R,UF-3J,UF-13AWP（VU）,UF-114E,AY-34（1P）,H-54,AY-21（1P）	4	3		1		
幼児用シャワーパン	PFS1100R（排水トラップ,目皿付）,PZ6031,PZ2502,PZ6068	PF-1175Y（3）-K1,NP-K1A-5,FHK-69-4,KG-TP3（A）	1	1				
マルチシンク	SK500,T200BSQ13C,T6PMR,TL220D,HH04060	S-17,LF-7KRZ-13,SF-25PA,SF-10E,KF-30DN	2	1	1			
洗面器	L250CM,TL604302JA,TLDP2201J,TL4CU,TL250D,TS126AR,HH04060	L-176UP,LF-1Z,LF-3V（単水栓）,LF-5PAU,SF-10E,KF-30DN,KF-24F	1		1			
化粧鏡	YM4560A	KF-4560	1		1			
カウンター一体形手洗器	L652D,TL106AQR,T22BS,TL4D1FU,M281 ※カウンターは建築工事	L-2841,LF-74,LF-3SVW80,LF-105SAL,A-6224 ※カウンターは建築工事	3	3				
洗濯機パン	PWP640N2W,PJ2009NW	PF-6464AC,TP-51/FW1	1	1				
立水栓	TW11R	LF-WJ50KQA	1	1				



【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所		令 和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事		機械設備		M— 0 4
					給排水衛生	平面図 改修前	
						A2 : 1/150 A3 : 1/211	



改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照	

【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 3 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	機械設備	A2 : 1/150 A3 : 1/211	M— 0 5
			給排水衛生 平面図 改修後		

更衣室

園児用便所 (A)

※改修給水配管：天井下露出（水道用硬質ポリ塩化ビニル管）

現況平面詳細図 1/50

衛生器具類撤去一覧表：処分は建築工事

衛生器具表	品番及び付属品	園児用便所
子供用和風器	C-103, FV, 他付属品共	5
小便器	U-53 (5人立), 他付属品共	5
ハイタンク	S-48 (5人立), 他付属品共	1
小便器	U-53 (3人立), 他付属品共	3
ハイタンク	S-28N (3人立), 他付属品共	1
掃除流し	SK22A, 他付属品共	1
洗面器	L230D, 他付属品共	6

撤去工事凡例：処分は建築工事

——	今回撤去工事を示す。
---	既設を示す。
<1 2 3	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩ビライニング鋼管	
汚水管：硬質塩化ビニル管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：保温付鋼管 (M)	
ガス管：配管用炭素鋼鋼管：白	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

更衣室

園児用便所 (A)

改修平面詳細図 1/50

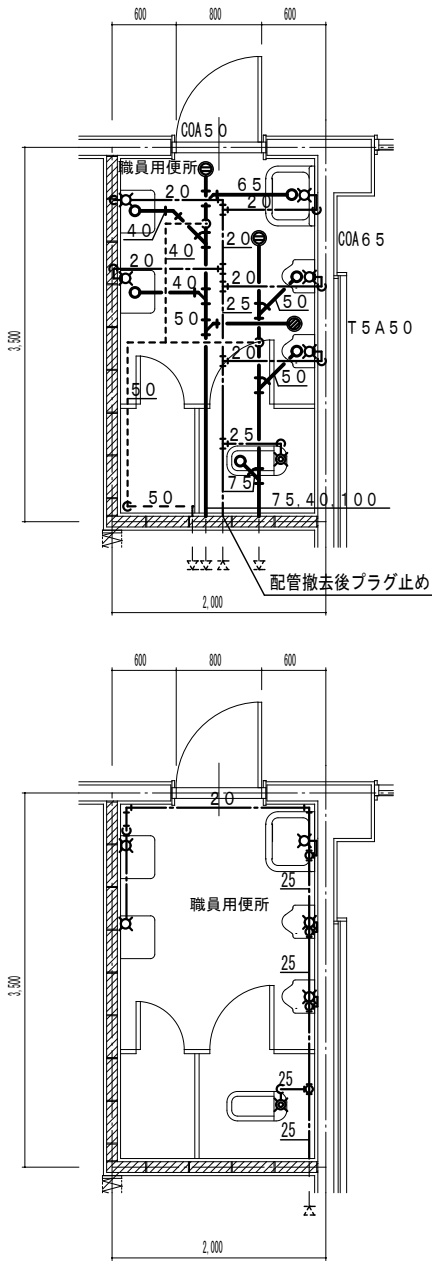
GW-1 ガス給湯器接続箇所は給水20A (GV・FJ), 給湯20A (FJ), ガス20A (GC・FJ) 取付けの事
リモコン配線 (メーカー付属品) とする 但し, 取付位置は打合せによる

給湯器リモコン (取付位置は打合せによる。)

改修工事凡例

——	今回施工工事を示す
---	既設を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
◀ 2 3	コア抜き貫通箇所を示す
<1 2 3	既設貫通箇所を示す

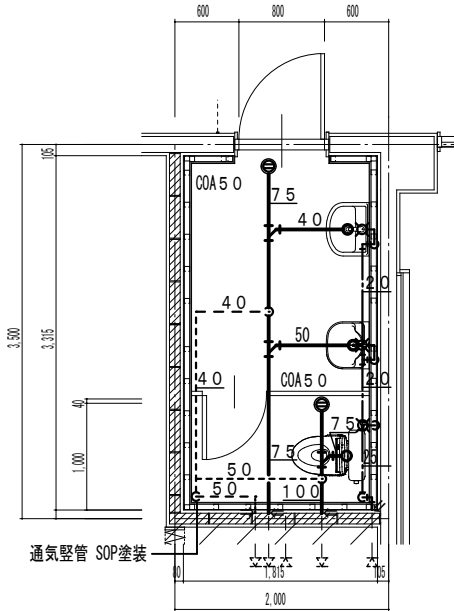
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照



現況平面詳細図 1/50

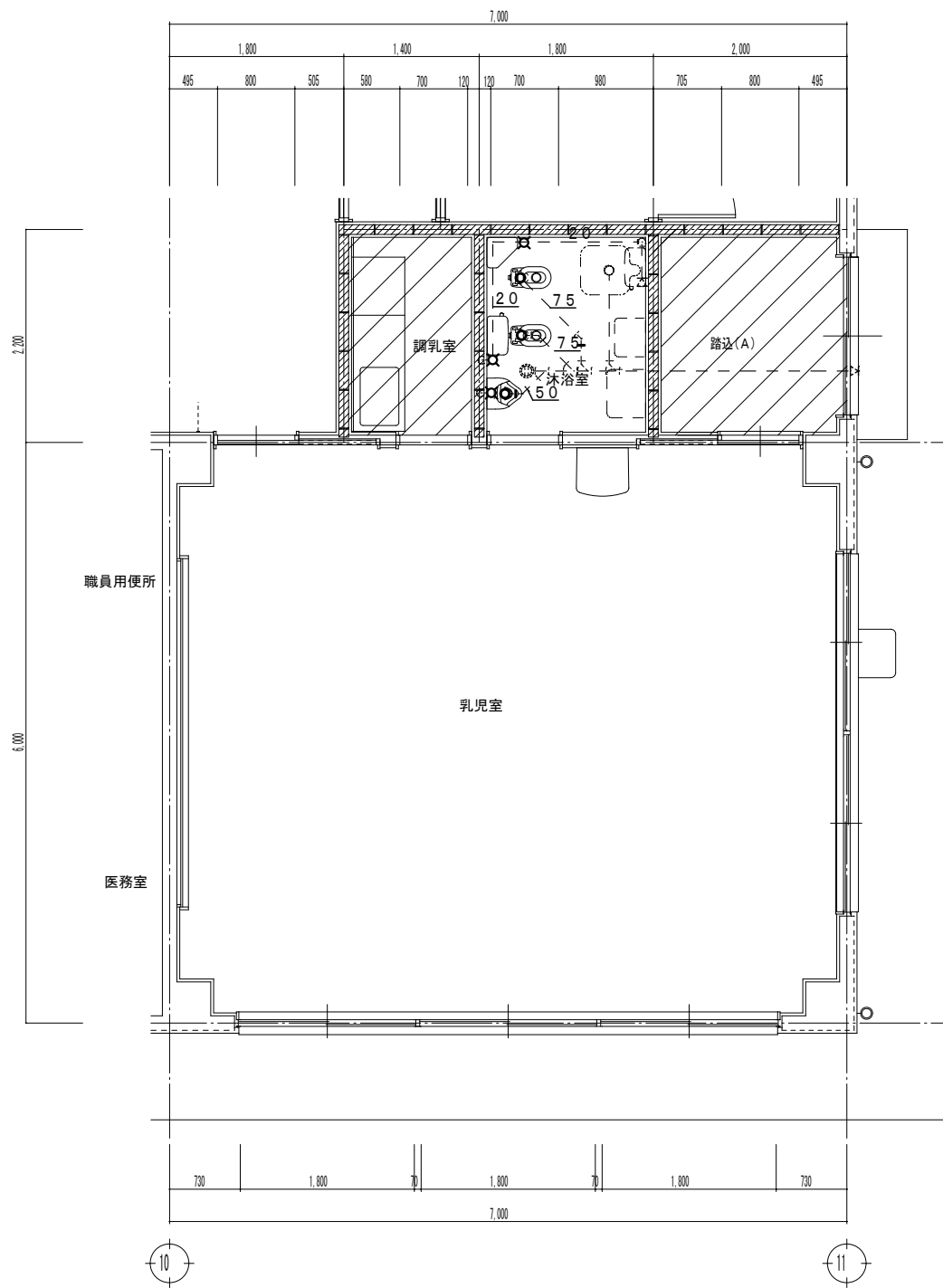
衛生器具類撤去一覧表：処分は建築工事		
衛生器具表	品番及び付属品	職員用便所
和風大便器	C-3 7 5 V, F V, 他付属品共	1
掃除流し	SA 2 2 A, 他付属品共	1
小便器	U-5 7, 他付属品共	2
洗面器	L-5 B, 他付属品共	2
化粧棚	S-3, 他付属品共	2
化粧鏡	TS-1 1 9 A S 3	2

撤去工事凡例：処分は建築工事	
——	今回撤去工事を示す。
— — —	既設を示す。
<1 2 3	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩化ビニル管	
污水管：硬質塩化ビニル管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：保温付銅管（M）	
ガス管：配管用炭素鋼管：白	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	



改修平面詳細図 1/50

改修工事凡例	
——	今回施工工事を示す
- - - -	既設を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
◀ ☒	コア抜き貫通箇所を示す
<1 2 3	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照	



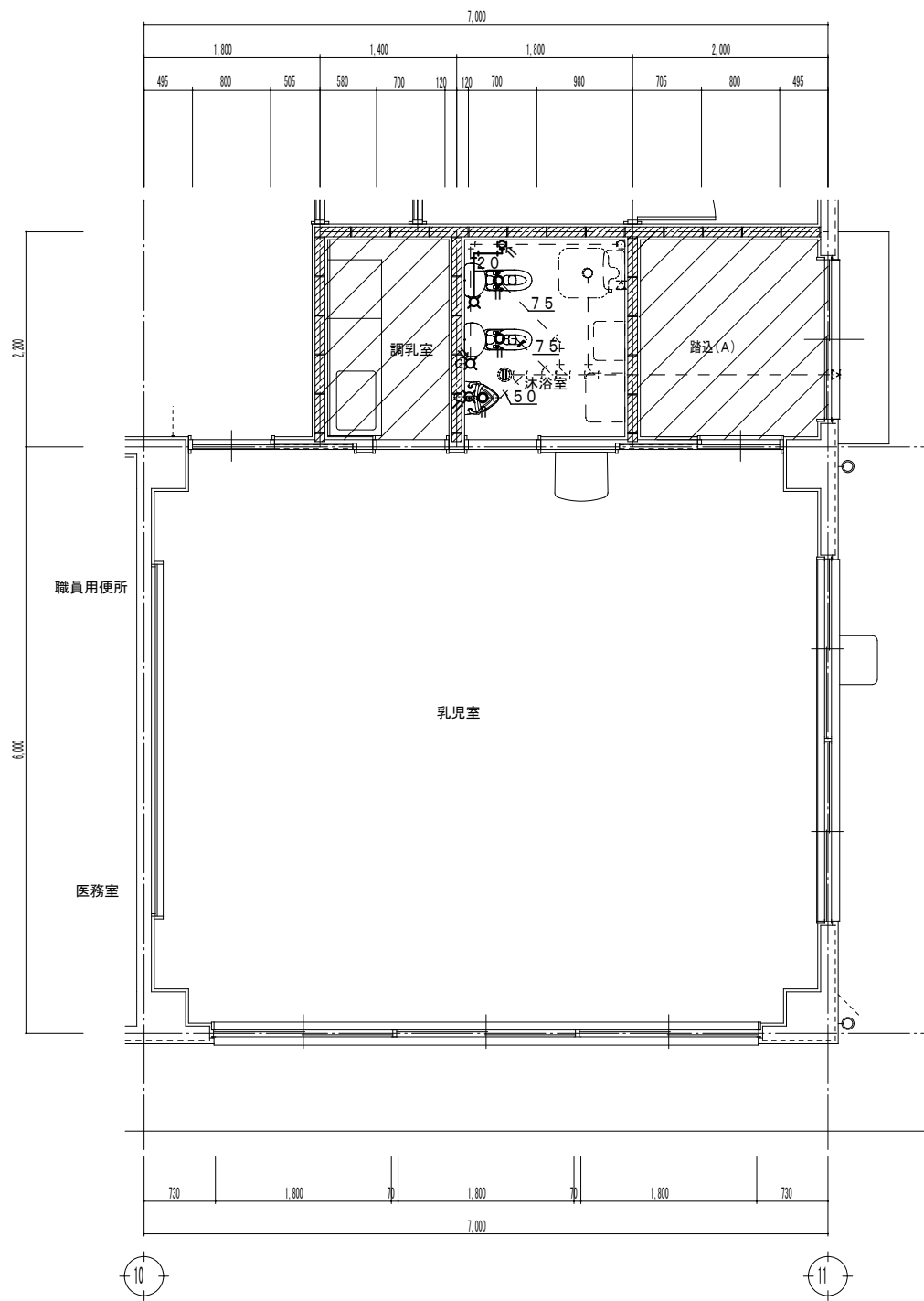
現況平面詳細図 1/50

衛生器具類撤去一覧表：処分は建築工事

衛生器具表	品番及び付属品	沐浴室
幼児用大便器	ロータンク、他付属品共	1
乳児用大便器	ロータンク、他付属品共	1
幼児用小便器	U-5 3、他付属品共	1

撤去工事凡例：処分は建築工事

	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩化ビライニング鋼管	
污水管：硬質塩化ビニル管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：保温付銅管（M）	
ガス管：配管用炭素鋼鋼管：白	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	



改修平面詳細図 1/50

改修工事凡例

	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。

土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照